

CAMPUS LIFE 2026



CHUBU UNIVERSITY

中部大学の歩き方。

中部大学の 歩き方。



あたらしい学びの舞台へようこそ!

この冊子には、中部大学のしくみがわかりやすく解説されています。

授業や制度、キャンパス生活で困ったことやわからないことがあったら、まずはこの冊子を思い出し開いてみてください。

あなたの疑問や不安を解消してくれることでしょう。

大学では学びだけでなく、楽しさや挑戦、成長がたくさん待っています。

一緒に大学の世界を歩いていきましょう。

Contents もくじ

知っておくべき基礎知識

授業	08
履修申告・シラバス・出席	09
試験と成績	10
指導教授制、P.S.H.、オフィスアワー	12
学生証・学籍番号	13
学籍の異動	14
通学	16
大学から学生への連絡について	18
学費	19
奨学金・支援金制度	20
進路決定までのサポート	24

学生生活における注意事項

学生生活における注意事項	26
中部大学における個人情報保護方針	30
ハラスメントの防止について	30

大学生生活全般の支援窓口

窓口	34
不言実行館 ACTIVE PLAZA	36

充実した学生生活を

留学・国際交流・語学	42
学長認定資格：地域創成 メディアーター・リスク予防管理士	46

中部大学の様々な施設

中部大学附属三浦記念図書館	48
学習支援室	50
総合情報センターと コンピュータ・サポートデスク	50
健康増進センター	52
学生相談室	53
日本伝統文化プロジェクト室	54
中部大学民族資料博物館	55
学内スポーツ施設	56
中部大学研修センター	58

課外活動・その他

課外活動（ボランティア・ クラブ活動・ちゅとらボ等）	60
後援会	64
同窓会	65
ケガをした・倒れた人を 発見した場合の対応	66
中部大学キャンパスマップ	67

建学の精神と基本理念

建学の精神

「不言実行、あてになる人間」



基本理念

中部大学は、「不言実行、あてになる人間」を信条とし、豊かな教養、自立心と公益心、国際的な視野、専門的能力と実行力を備えた、信頼される人間を育成するとともに、優れた研究成果をあげ、保有する知的・物的資源を広く提供することにより、社会の発展に貢献します。

シンボルマーク

シンボルマークは中部大学のアイデンティティを視覚的に表現したもので、建学の精神である「不言実行」をベースに、これから大学が目指していく「創造性」、「国際性」、「開かれた大学」の3つの方向をシンボライズするものです。



学部・大学院

※アルファベットは学科・専攻の記号を表します。

学部
Faculty

工学部	機械工学科	EM	都市建設工学科	EC
	建築学科	EA	応用化学科	EK
	情報工学科	EP	電気電子システム工学科	EL
経営情報学部	経営総合学科			BS
国際関係学部	国際学科			NA
人文学部	日本語日文化学科	HJ	英語英米文化学科	HF
	心理学科	HW	歴史地理学科	HH
	メディア情報社会学科			HM
応用生物学部	応用生物化学科	FR	環境生物科学科	FS
	食品栄養科学科 (食品栄養科学専攻・管理栄養科学専攻)			FT
生命健康科学部	生命医科学科	LB	保健看護学科	LK
	理学療法学科	LP	作業療法学科	LS
	臨床工学科	LC	スポーツ保健医療学科	LE
現代教育学部	幼児教育学科			PY
	現代教育学科 (現代教育専攻・中等教育国語数学専攻)			PJ
理工学部	数理・物理サイエンス学科			AS
	AIロボティクス学科	AR	宇宙航空学科	AU

大学院
Graduate School

工学研究科	機械工学専攻	TM	電気電子工学専攻	TE
	建設工学専攻	TC	応用化学専攻	TK
	情報工学専攻	TP	創造エネルギー理工学専攻	TS
	ロボット理工学専攻	TR	宇宙航空理工学専攻	TU
経営情報学研究科	経営情報学専攻	MG	経営学専攻	MH
国際人間学研究科	国際関係学専攻	KN	言語文化専攻	KL
	心理学専攻	KW	歴史学・地理学専攻	KH
応用生物学研究科	応用生物学専攻			GR
生命健康科学研究科	生命医科学専攻	RB	看護学専攻	RK
	リハビリテーション学専攻	RH	保健医療学専攻	RE
教育学研究科	教育学専攻			SE

知っておくべき 基礎知識

Basic Information

スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> ● 入学式 ● 春学期授業開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● Chubu Walk ● 中部大学全学科対抗スポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 創立者記念日 ● バドミントン大会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 春学期期末試験 	<ul style="list-style-type: none"> ● 夏季休業 ● 追試験 	<ul style="list-style-type: none"> ● 夏季休業 ● 夏季課外教育活動 ● 秋学期オリエンテーション ● 秋学期授業開始
10月	11月	12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> ● 中部大学祭 	<ul style="list-style-type: none"> ● 開学記念日 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学園創立記念日 ● 中部大学音楽祭 ● クラブ活動表彰式 ● 冬季休業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 冬季休業 ● 学長表彰の会 ● 秋学期期末試験 	<ul style="list-style-type: none"> ● 春季休業 ● 追試験 	<ul style="list-style-type: none"> ● 春季休業 ● 学位記授与式 ● 春学期オリエンテーション

※2026年度の中部大学祭は2026年10月31日～11月1日の2日間開催となります。

大学と高校の違い

大学の学修は単位制です

本学では、1年を春学期と秋学期に分けて授業を行っています。単位の基準は原則として1単位の学修時間を授業と予習・復習を合わせて45時間としています。講義の場合、教室内における1時間の授業に対して2時間の予習・復習が必要となります。必要な時間数を受講した上で評価基準を満たすと単位が修得できます。

進級・卒業するには要件があります

進級・卒業するためには、各学科に定められた要件を満たさなければなりません。詳細については、各自、学生便覧を必ず確認してください。

授業時間割は各自で作成します

授業時間割は、一定の条件を満たすよう各自で選択して作成します。したがって、同級生であっても一人ひとりの時間割は異なります。

大学からの連絡

大学、教職員等からの連絡は、原則として大学HP、掲示板、Tora-Net Portalのお知らせ、Tora-Net メール (Office365)、中部大学公式アプリによって行われます。必ず、定期的に確認する習慣をつけましょう (詳細は18ページを参照)。窓口では学生証を提示し、用件を伝えてください。



中部大学マスコット
ちゅーら

履修申告

“

大学で授業を受講するには、受講したい科目を申告しなければなりません。この制度のことを履修申告といいます。本学ではWeb（Tora-Net Portal）を利用して履修申告を行っています。

”

- インターネットに接続可能な環境であれば、「Tora-Net Portal」から、期間内に履修申告が可能です。各自で履修申告をしてください。学内に設置してあるPCからも履修申告できます。
- 履修申告方法がわからない、また、履修指導を必要とする学生のため、学年・学科ごとに時間・場所を指定した履修相談日を設定しています。
- 履修登録をしていない科目の受講や申告期間後の受講科目の変更は認められません。
- どのような科目を履修すればよいか、履修単位の上限、履修順序等については、学生便覧を参照してく

- ださい。履修登録画面では、自分の履修可能科目のみ表示され、その科目の中から選択することができます。履修した科目が卒業要件のどの項目に該当するかを確認し、申告もれがないようにしてください。
- 人数制限科目は、期間内に登録した学生を対象に抽選が行われ、当選した場合のみ履修が確定します。抽選後は必ず「抽選結果確認」をしてください。履修申告の修正、人数制限科目の追加・取消も期間内であればWeb上で実施できます。
 - 履修申告の締切近くはアクセスが集中して、サーバーに接続しにくくなる場合があります。余裕をもって早めに登録してください。

シラバス・出席

シラバス

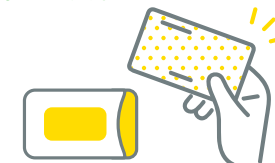
シラバスとは、各授業担当者が授業科目の主旨や達成目標・授業計画（内容・授業外学習）・授業方法・成績の評価方法および評価基準・教科書・参考文献等を記載したものです。事前に必ず確認して、履修計画を立てる際の参考にしてください。Tora-Net Portalにログイン後、「サービスメニュー」-「シラバス」より参照すると授業担当者のメールアドレスが確認できます。また、シラバスは履修登録画面からも参照できます。

検索機能

学科、科目、担当者毎の検索が可能です。キーワードによる内容の全文検索も可能です。

出席情報確認システム

出席情報確認システムとは、講義室、ゼミ室、実験・実習室に設置されたICカードリーダーに学生証をかざして、出席情報を登録するシステムです。成績の総合評価への活用、面談および早期学修指導への活用などを目的に、原則学部の全ての授業において出席情報を取得しています。また、自分の出席状況はTora-Net Portalで確認できます。学生証を常に携帯して、出席情報を必ず登録しましょう。



授業

授業時間と時限

授業時間は、以下のように定められています。

時限	時間
1・2	9:30~11:00
3・4	11:15~12:45
5・6	13:35~15:05
7・8	15:20~16:50
9・10	17:05~18:35

オリエンテーション

オリエンテーションとは、毎学期の初めに行われるものです。学科からの連絡事項や履修上の注意事項があるので、必ず出席し、今後の学生生活に支障が生じることの無いようにしてください。

休講・補講

大学または授業担当者のやむを得ない事情で、授業を休講することがあります。この場合は補講が行われず。補講は平日の9・10時限や土曜日などに行われず。休講・補講の情報はTora-Net Portalで確認してください。

緊急時の授業の実施について

〈1〉暴風警報・特別警報発令時の場合

台風等によって、尾張東部または愛知県西部全域に「暴風警報」もしくは「特別警報（大雨・暴風・暴風雪・大雪）」が発令された場合、授業は次のように取り扱います。

暴風警報・特別警報解除の時間	授業
午前7時より前に解除	通常どおり実施
午前7時現在発令中	午前中休講
午前10時までに解除	午前中のみ休講
午前10時現在発令中	すべて休講

〈2〉南海トラフ地震などの災害時の場合

「南海トラフ地震に関連する情報」が発令された際、講義・課外活動を行うことが困難であると大学が判断した場合は、直ちに中止とし、地震の発生に十分警戒した上、安全な場所へ避難してください。本学公式ホームページ等でその都度指示します。学外における教育活動時においては、授業担当者あるいは、教育実習先等の指示に従い行動してください。

〈3〉公共交通機関の運行停止時、ストライキの場合

公共交通機関の運休、自然災害、ストライキなどの影響により、通学困難または授業等に支障が生ずるおそれがある場合に限り、休講とする場合があります。休講措置を取らない場合においては、当該地域に在住し、公共交通機関で通学する学生に対しては、欠席届（定期試験の際は追試験受験許可願）の対象として取り扱います。

※車両点検や人身事故等の一時的な事故による運行停止（運転見合わせ）は、休講措置の対象にはなりません。

〈4〉Jアラート等による緊急情報（弾道ミサイル発射）発信時の対応

授業・課外活動中にJアラート（全国瞬時警報システム）をはじめ、スマートフォンの緊急速報メール等により、緊急避難が呼びかけられた際は、下記の対応をお願いいたします。

1. 屋外にいる場合	近くの建物の中か地下に避難する
2. 建物がない場合	物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る
3. 屋内にいる場合	窓から離れるか、窓のない部屋に移動する

さらに詳しい情報については、「内閣官房国民保護ポータルサイト」を参照してください。

試験と成績

1. 期末試験

期末試験は、授業科目ごとに、春学期および秋学期の原則16週目に行われます。なお、一部の科目は、16週目以降の試験期間に実施されます。試験時間割はTora-Net Portalで確認できます（前半・後半科目は8回で終了するため8週目に行われます）。

試験に関する注意事項

1. 試験時は机上通路側に学生証を置くこと。
2. 遅刻による入室は試験開始後30分までとする。
3. 受験場からの退室は試験開始後30分以降とする。
4. 受験場は試験監督の指示に従い、着席すること。
5. 情報通信機器（スマートフォン・スマートウォッチ・スマートグラス・PC等）は電源を切り、カバンに入れておくこと。
6. 答案用紙は試験終了後、試験監督の指示に従い、必ず提出しなければならない。（答案用紙は持ち帰ることはできない）
7. 期末試験をやむを得ない理由で受験できなかった場合、当該科目の試験日を含めて3日以内に教務支援課へ追試験を願い出ることができる（申請理由によっては許可されない場合がある）。

学生便覧の「[中部大学試験規程](#)」を
読んでおくこと。

学生証を忘れたら

- 学生証に代わる「[受験許可証](#)」（当日限り有効）を発行しないと受験ができません。
 - 「[受験許可証](#)」の発行は教務支援課で受け付けます。発行料として500円が必要です。また、学生証持参のうえ、必ず翌日までに返却しなければなりません。（返却を忘れるとその日の試験は無効となります）
- ※試験期間の期末試験、試験日、追試験日のみ対象

不正行為に対する措置と処分について

試験における不正行為は学生の本人に反する行為です。不正行為は絶対に行わず、公正な態度で試験に臨んでください。試験中に不正行為を行った科目については無効となり、その試験以後の全科目が無効になります。また学則により退学・停学などの処分が科せられます。期末試験・追試験において以下に掲げる行為は、中部大学学則および中部大学学生懲戒規程にしたがい厳重に処罰されます。

● 不正行為の例

1. カンニングペーパー、又はこれに類するものを所持又は使用する行為
 2. 代理受験を依頼する行為、および代理受験をする行為
 3. 他人の答案を見る行為、および他人に答案を見せる行為
 4. 答案用紙を交換する行為、又は答案用紙を試験室外に持ち出す行為
 5. 物品を貸し借りする行為
 6. 持込みが許可されていない書籍、プリント、ノート等を持込み使用する行為
 7. 情報通信機器（携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、スマートグラス・PC等のデバイスを含む）を操作・使用する行為、又はそれらを利用し、他人に連絡する行為
 8. 試験監督者の指示に従わず、公正な試験を妨げると認められる行為
 9. その他試験監督者が不正行為と認めた行為
- 不正行為および不正行為と誤解されるような行為はしないよう、真摯な態度で試験に臨んでください。

追試験を申請するには

追試験は、期末試験当日に病気・急引、その他やむを得ない理由のため期末試験を受けられなかった場合にのみ申請することができます。追試験の願い出は、「追試験受験許可願」に病気の場合は診断書、その他の場合は理由を証明する書類等を添付して、該当科目の試験日を含めて3日以内に教務支援課へ提出してください。

※願い出の理由によっては許可されないことがあります。

2. 成績評価

● 成績評価段階（評価基準）

合格：S（90点以上）・A（80～89点）
B（70～79点）・C（60～69点）
不合格：E・I（59点以下）

「E」評価の科目を再度履修する時は、改めて履修申告の手続きが必要で。

「I」評価の科目は、実験・実習・製図・実技等の科目のうち、学修状況がやや不十分な場合、次の学期に学修指導を継続する（改めて履修申告の手続きが必要）もので、引続く学期または1年以内に再評価されるものです。

● GPA 制度

GPA（Grade Point Average）は、学生が履修した全科目の成績評価段階を、それぞれGPに置き換えて、単位数を掛けた値を総履修単位数（不合格評価を含む）で割り平均点を算出します。入学時からの累積GPAと学期ごとのGPAの2つのGPAが算出されます。

$$GPA = \frac{GP \quad S \cdots 4, A \cdots 3, B \cdots 2, C \cdots 1, \text{不合格} \cdots 0}{4.0 \times S \text{の修得単位数} + 3.0 \times A \text{の修得単位数} + 2.0 \times B \text{の修得単位数} + 1.0 \times C \text{の修得単位数}} \div \text{総履修単位数(不合格の単位数を含む)}$$

これにより、客観的に「学修到達度」を計ることができ、履修計画、学修指導の指標としての活用が期待されます。また本学で導入するGPA制度は、欧米の大学で採用している成績評価制度に概ね準拠しているため、海外留学、大学院進学、就職などの際に学力の指標にもなります。

3. 成績通知

成績は、春学期・秋学期ともに定められた成績発表日よりTora-Net Portalにて確認できます。なお、保証人には各学期終了後に郵送されます。

4. 「I」評価科目の再評価・成績

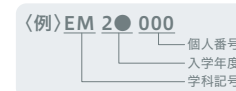
「I」評価科目を引続く学期（または年次）に履修申告の手続きをしなかったときには、自動的に「E」評価に変更されます。「I」評価科目の成績は、「C」「E」のいずれかとなり、「S」「A」「B」および「I」は与えられません。

成績評価の確認

成績評価についての疑問がある場合は、教務支援課窓口を確認をお願いすることができます。期間は成績発表日から3日間になります。



学生証・学籍番号



現住所	現住所無きもの場合は			
通学経路	駅一	駅	駅一	駅
発行年月日	期	発行年月日	期	発行年月日
通学定期発行日	月	月	月	月
卒業予定年月日	月	月	月	月
注意事項	本証表面の「有効期限」と同様とする 承認 中部大学			

学生証の取扱いについて

学生証は、本学の学生として身分を証明する唯一のものです。学生証は、必要なときにいつでも提示できるよう常に携帯しておいてください。授業の出席申告や試験を受けるときはもちろんのこと、在学証明書や成績証明書、通学証明書等の各種証明書の交付の際にも必要になります。学生証の紛失、破損等による不利益については学生の自己負担となりますのでご注意ください。学生証は、大切に取り扱いように注意しましょう。

学生証を紛失・破損したとき

学生証が折れ曲がったり、割れたりすると、学生証の中に入っているICチップが壊れてしまい、講義の出席情報登録や証明書自動発行機での証明書発行ができなくなります。学生証の紛失や、破損（ひび割れ・歪み・ねじれ等）により使用できなくなった場合は、速やかに学生支援課で再交付の手続きを行ってください。再交付には手

数料として1,500円が必要になります。なお、学生証の再交付手続きは即日対応できません。ただし、初期不良などの理由で学生証が動作しない場合、無償での再交付が適用される場合があります。再交付願を学生支援課窓口へ提出した翌営業日以降に「在籍確認兼通学証明書シール」とともに交付されます。※再交付後に紛失した学生証が見つかった場合でも、手数料の返金はできません。

学籍を失ったとき

学生証は、卒業・退学・除籍等により学籍から離れたときは、速やかに大学へ返還しなければなりません。

記載事項の変更

「在籍確認兼通学証明書シール」の記載内容は書き直しができません。自身で書き直したものは無効になります。書き損じや現住所・通学経路等に変更があった際は、新しい「在籍確認兼通学証明書シール」を学生支援課窓口で受け取ってください。

指導教授制、P.S.H.、オフィスアワー

指導教授制

「指導教授」とは修学上の問題はもとより、個々の学生生活の問題についても、みなさんの相談相手となり、より適切な道を見出す指導、アドバイスを与え大学生生活を有意義なものにする手助けをしてくれる教員のことです。従って、みなさんが積極的に「指導教授」を訪問し、相談することが大切です（自分の指導教授がわからない場合はTora-Net Portalで確認してください）。

相談例

修学に関する相談

授業を聞いても内容が理解できない、勉強方法がわからない、あるいは授業以外にも自分で何か勉強したい等修学についての悩み、問題を指導教授に相談してください。

学生生活に関する相談

大学生生活で困っていること、例えば、学費の問題をはじめ、奨学金の申込み、あるいは、健康状態・家庭・恋愛等の問題・アルバイトや下宿生活の問題、SNSや友人関係のトラブル等を指導教授に相談してください。

進路に関する相談

進学や職業選択に迷うのは当然です。指導教授は学生各自の適性に応じて助言してくれます。

異動に関する相談

休学・退学等の学籍の異動を申請する場合は、指導教授に必ず相談をして承認を受けてください。

P.S.H. (PROFESSOR-STUDENT HOUR)

毎水曜日、7・8時限はP.S.H.

教職員とのコミュニケーションを密にするため、上記時間を、指導教授制度による学生指導および面談にあてています。また教養を高めるためその中の数回を学内外の講師による講演会等に利用します。（談話会などにも指導教授の許可をうけて利用することもできます。）このほかに、ゼミナール・卒業研究に関する教員の専門の事項についての話や就職についての相談なども気軽に尋ねてください。

オフィスアワー

オフィスアワーとは、みなさんが所属する学部・学科の枠を超え、希望する学科の教員と自由に触れ合い、様々な事柄について相談が出来る時間帯です。学生と教員の自由な触れ合いの時として大いに活用してください。面談希望者は学生支援課へ電話にて連絡してください。なお、非常勤講師の先生への質問や相談については授業前後の時間を使う、もしくはTora-Netメール（Office365）を利用してください。



学籍の異動

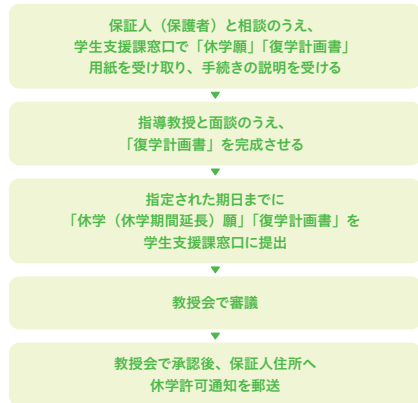
休学

病気・怪我その他やむを得ない理由により、長期（2ヶ月以上）にわたり修学することができない場合は、学則第28条により休学を願い出ることができます。病気・怪我による休学の場合は、医師の診断書を添えてください。1回に申請できる休学期間は1年以内です。ただし、年度を越える1年間の休学申請はできません。休学期間は通算して4年を超えることはできません。休学すると自動的に卒業年度が延期されますのでご注意ください。また、1年次春学期からの休学は、特別な事情がない限り認められません。

休学期間延長

休学期間の満了日以降、引続き休学する場合は「休学期間延長願」「復学計画書」を提出しなければなりません。病気・怪我による休学期間延長の場合は、医師の診断書を添えてください。休学期間の満了が近づくと大学から手続きについて通知します。必ず指定された期日までに手続きを行ってください。

●休学（休学期間延長）手続きの流れ



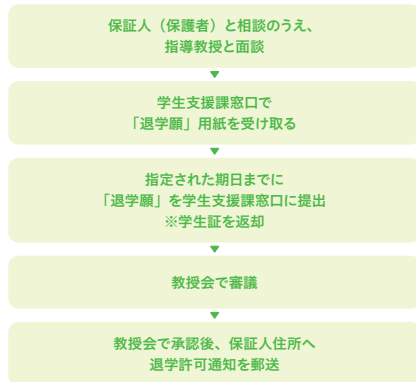
復学

休学の理由が消滅したときは学長の許可を得て復学することができます。病気・怪我による休学者が復学しようとする場合は医師の診断書を添えてください。休学期間の満了が近づくと大学から手続きについて通知します。必ず指定された期日までに手続きを行ってください。

退学

病気・怪我その他の理由により、やむを得ず退学する場合は、学則第34条により退学を願い出ることができます。病気・怪我による退学の場合は、医師の診断書を添えてください。

●手続きの流れ



再入学

1.退学後に再入学を希望するときは、学長の許可によって認められることがあります。
2.原則として退学した年度の翌年度または翌々年度の3月1日～3月7日までに所定の用紙を用い、保証人連署のうえ検定料を添えて教務支援課で手続きを行ってください。所定の用紙は事前の学科面談で内諾が得られた方のみお渡しいたします。

除籍

次の一つに該当する場合は、除籍となります。

- 1.8年間の在学期間を超えた者
 - 2.4年間の休学期間を超えた者
 - 3.休学期間が満了しても所定の手続きをしない者
 - 4.死亡した者
 - 5.授業料納入の義務を怠り、督促しても納入しない者
- ※除籍になった場合は、成績証明書等の証明書は発行されませんので注意してください。
※編入学者の在学期間および休学期間の上限は別に定めます。

転学部・転学科

転学部・転学科の出願は志願する学科に欠員がある場合に限ります。詳細については毎年春学期に行われる説明会に参加して、確認してください。

●意思表示

転学部・転学科を志望する者は、毎年12月20日までに在籍している学部学科の学科主任および教務支援課に願い出、その承諾を得てください。

●出願資格

学業の修学に見込みがあり、下表に示された単位を修得の見込みであること。なお、転学部・転学科を許可された者が、出願した年度末において下表に示された単位を修得できなかった場合は、転学部・転学科の許可を取り消します。

受入学部	2年次に転学部・ 転学科する場合	3年次に転学部・ 転学科する場合
工学部 国際関係学部 人文学部 応用生物学部 生命健康科学部 現代教育学部 理工学部	30単位以上	60単位以上
経営情報学部	30単位以上かつ、 学期末通算の GPAが1.50以上 であること	60単位以上かつ、 学期末通算の GPAが1.50以上 であること

出願期限：2月28日

選抜方法：面接

出願手続：志願者は、以下の書類に手数料5,000円を添えて所定の期日までに教務支援課に提出してください。

- 必要書類：①転学部・転学科願書（写真貼付）
②現在在籍する学科主任の承諾書

**休学、休学延長、復学、退学の
手続きをしようとする場合、
原則として「学期開始前」に
所定の書類を提出してください。**

〈窓口〉
休学、休学期間延長、退学：学生支援課
再入学、転学部・転学科：教務支援課



通学

電車・バス（通学証明について）

●在籍確認兼通学証明書

学生証の交付を受けただけで裏面の「在籍確認兼通学証明書シール」(以下、シール)に、現住所を記入してください。在籍確認と兼ねていますので、通学用定期券を購入しない学生も記入する必要があります。現住所や通学経路などに変更があった場合は、学生支援課窓口にて通学経路変更およびシールの交換の手続きを行ってください。

●通学定期券の購入

シールの「通学経路」に乗降駅を記入し、各交通会社の定期券購入窓口で学生証を提示し購入します。購入できる通学定期券は、原則、現住所（シールに記入した住所）の最寄り駅から大学最寄り駅（神領駅もしくは高蔵寺駅）までの区間で最も経済的なコース（最短経路、最安経路など）で通学する場合に限り購入することができます。アルバイトなど通学以外の目的では購入できません。

注意事項

以下の場合は利用できませんので注意してください。

- シールに現住所が記入されていないもの
- 一度記入した内容を学生自ら修正したもの
- 学生証の有効期限が切れているもの

通学定期券に関する不正は犯罪行為です。交通事業者から高額な損害賠償を請求されるなどの処分に加えて本学学生全体に対する学割サービスの停止に至る可能性があります。本学としても不正行為を行った者に対し、厳しい姿勢で臨みます。

不正行為とは（例）

- シールに虚偽の現住所を記載
- 他人に通学定期券を譲渡、貸与
- その他、各交通事業者が定める通学定期券購入に係わる規程に反する行為など

学割証の発行について

学校学生生徒旅客運賃割引証（通称「学割証」）は、乗車区間が100kmを超えると利用することができます。割引率は急行料金などを除き、普通乗車券の2割引（JRの場合）です。証明書自動発行機より学生証を使って自動発行されます。発行後、有効期限は3ヶ月となりますので、計画的に利用してください。

名鉄バス中部大学線

JR神領駅北口-大学間をノンストップで結ぶ路線バスが運行されています。

●定期乗車券の購入の場合

定期乗車券の購入を希望する場合は以下のどちらかを選び購入してください。

1. デジタル定期乗車券

専用アプリを使用します。アプリ上で決済ができ、紛失のリスクがないことが特徴です。

2. プラカード製定期乗車券

不言実行館4階にある証明書発行機で購入します。



デジタル定期乗車券



プラカード製定期乗車券

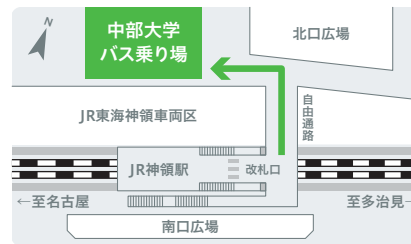
●障がい者割引定期乗車券について

障害者手帳をお持ちの学生は障がい者割引定期乗車券をご購入いただけます。購入方法などの詳細はHPをご確認ください。



<https://www.chubu.ac.jp/about/location/bus/disabled/>

●中部大学バス乗り場（JR神領駅北口）



- ※自由通路を通行する際は、周りの歩行者に注意し、片側通行を遵守すること。
- ※携帯電話、スマートフォン等を操作しながら歩行しないこと。
- ※近隣住民に迷惑がかけられないよう、バス乗り場周辺での大声による会話や、喫煙は禁止です。
- ※学期始めは、改札からバス乗り場まで乗車待ちの列ができ、大変混雑しますので、時間に余裕をもってご利用ください。

自動車通学について

近年、自動車通学が増え、交通事故も増加しています。通学にはできるだけ公共交通機関を利用し、やむを得ず自動車通学をする場合には、各年度ごとに事前に登録する必要があります。

●登録条件

1. 自身に適用される自動車（任意）保険が、以下の条件を満たしていること
 - ・対人賠償保険無制限
 - ・対物賠償保険1,000万円以上
 - ・人身傷害保険または搭乗者保険が1,000万円以上
2. 現住所から中部大学正門までの直線距離が2km以上であること
3. 免許取得から半年以上経過していること

※車両変更手続き中の場合、手続き完了後に申請してください。

●登録料

2,000円/年度

●登録方法

不言実行館4階の証明書自動発行機で「駐車場利用登録申請書」を購入し、Web上で申請を行う。

●利用規則（一部抜粋）

- ・入退場の際は必ず国道19号線を経由すること
- ・枠外駐車や入場ゲートの二重入場は絶対にしないこと
- ・一般道路上、コンビニ等の店舗、契約駐車場等に無断で駐車しないこと

※その他は登録時の利用規則を確認してください。利用規則を遵守できない、登録条件を満たしていないなどの場合には、利用を取り消します。

●駐車場の利用について

出入り口にはゲートが設置されており、入場するには学生証が必要です。学生証がない場合は利用できません。

駐車場利用時間
 〈第1学生駐車場西（大泉寺）ゲート〉
 全日 8:00~21:00
 〈第2学生駐車場北ゲート〉
 平日 6:00~8:00 / 17:00~22:00
 土・日・祝日 6:00~22:00

※やむを得ず得ず時間外の入場が必要な場合は、学生支援課へ相談してください。

バイク・自転車

指定されたバイク置場及び駐輪場に他の利用者の迷惑にならないよう駐車・駐輪してください。なお、本学では、自転車置場における放置自転車の撤去を行っています。全学生に対して掲示等による告知を行い、所定の期日を過ぎてもなお駐輪場に放置されている自転車について、処分を行っています。また、本学指定のバイク置き場及び駐輪場以外に停められているバイク・自転車は、告知なしで直ちに撤去します。

バイク登録について

バイクの利用実態を正確に把握し、適正な駐輪環境を整備すること及びバイク置場内での事故、鍵の抜き忘れが見つかった場合等に速やかに所有者を確認し、連絡を取るために登録が必要です。バイク置場を利用する際は、大学HPの登録フォームから利用者登録をしてください。

自転車登録について

自転車の利用実態を正確に把握し、適正な駐輪環境を整備することを目的としており、通学時に本学の駐輪場を利用する場合は自転車の登録をする必要があります。春日井市の条例により自転車損害賠償保険等の加入を義務付けています。加入状況を確認し、大学HPの登録フォームから利用者登録をしてください。

大学から学生への連絡について

大学から学生への連絡について

みなさんへの連絡事項は、掲示板やTora-Net Portalのお知らせ・Tora-Netメール（Office365）・中部大学公式アプリ等で通知をします。

修学・奨学金・就職・事務手続関係等の通知がありますが、通知を見落としたために必要な手続きができなかったとしても本人の責任となります。掲示板とTora-Net Portalのお知らせ、Tora-Netメール（Office365）、中部大学公式アプリ等は定期的に確認をしてください。

掲示板による連絡

校内の掲示板は内容ごとに掲示場所が分かれています。「修学・奨学金・就職・事務手続関係」等必要な情報に応じてそれぞれの掲示板で確認してください。

掲示板は一部の学部と全学部対象がキャンパスプラザ1階に、人文学部の掲示板は25号館1階、生命健康科学部の掲示板は51号館1階、経営情報学部の掲示板は21号館1階にあります。

各号館等の場所については、本冊子の裏表紙の裏面に掲載のキャンパスマップを参照してください。

Tora-Net Portal

パソコン・スマートフォンを使用して、個人宛のお知らせ、休講等の情報が取得できるTora-Net Portalを全学部対象に運用しています。必ず各自で確認するようにしてください。



●取得できる情報

個人宛連絡、休講・補講情報、講義室変更情報、大学からのお知らせ

※緊急連絡先に登録されたメールアドレスへ自動送信するように設定することができます。ただし、通信費用は受信者の負担となります。

●アクセス方法

アクセスの際には、利用者個人認証用のユーザID、パスワードの入力が必要となります。

※ユーザID・パスワード：入学時に各個人へ配付します。今後ユーザID、パスワードはいろいろな場面で使用しますので、忘れないようにしてください。

パスワードはTora-Net Portalで変更可能です。パスワードを忘れた場合は不言実行館4階に設置されている専用パソコンから、再取得してください。

安否確認通報システム 災害発生時における安否確認

本学では、南海トラフ地震などの大規模災害に備え、「安否確認通報システム」を運用しています。災害が発生した場合、電話およびメールで安否確認の通報が行われます。通報時の発信元電話番号・メールアドレスは下記になります。受信した際は必ず確認事項に回答をしてください。なお、留守番電話などに着信となった場合は、表示されている電話番号先に連絡してください。また、携帯電話等でドメイン指定受信等の設定を行っている場合は下記のメールが受信できるよう設定してください。

重要

正確な通報を行うために、電話番号・メールアドレスを変更した場合は必ず緊急連絡先の変更手続きを行ってください。変更しないと他人へ電話・メールが発信されるため、迷惑をかけるとともに、災害発生時にみなさんの安否確認ができません。

Tel: 045-330-0137

06-7636-2113

Email: 発信者 chubu@asp34.emc-call3rd.jp
ドメイン asp34.emc-call3rd.jp

学費

納入期限

在学中の学費の納入期限は、次のとおりです。

春学期：4月10日

秋学期：10月10日

※学費の納入案内は春学期は3月中旬、秋学期は9月中旬に行います。

納入方法

学費納入システムを利用します。詳しくは後日お送りする納入案内をご確認ください。

修学支援新制度 前学期対象者の学費

前学期に高等教育の修学支援新制度の対象者に認定されている在学学生は、授業料減免額を差し引いた学費の納付となります。納入通知は授業料減免額確定後の送付になるため、納付期限は春学期が6月30日、秋学期が12月31日となります。なお、当学期に認定外となることが明白な場合等は対象となりません。

学費延納願

納入期限までに学費を納入することが困難な事情のある人は、学費延納願を学生支援課へ提出してください。学費延納願は、原則として所定の用紙（学生支援課にて配付もしくは以下手順によりダウンロード）に延納を必要とする事由を明記し、本人及び保証人の署名捺印、指導教授の承認印を受け、納入期限（春学期は4月10日・秋学期は10月10日）までに学生本人が手続きを行ってください。

なお、延納による納入期限は、春学期については6月30日、秋学期については12月31日までとなります。

「学費延納願」の取得について

中部大学HPの左上もしくは右上に表示されるハンバーガーメニュー

▼
学生ポータル

▼
申請・届出

▼
証明書・願・届

学費を滞納すると

学費を督促してもなお納入しない人は、学則により除籍となります。各学期の納入期限に充分注意して、未納とならないようにしてください。

休学中の学費

休学が承認された場合は、休学期間中の授業料等の学費納入は免除されます。ただし、在籍料として学期ごとに所定の金額を納入しなければなりません。



奨学金・支援金制度

“

中部大学には日本学生支援機構の奨学金制度をはじめとして、大学独自の奨学金・支援金制度もいくつかあります。奨学金に関する説明会の日時や願書配付期間等、最新情報はキャンパスプラザ1階奨学金関係掲示板やHP、Tora-Net Portal・中部大学公式アプリ等でお知らせしますので希望する人は確認してください。

”

中部大学の奨学金・支援金

給付

奨学金名称	金額	募集	期間	対象	採用人数	条件等
育英奨学生	15万円	4月	1年	2年次以上	100名程度	成績、人物とも優秀な学生。 ※1 ※2 ※3
スポーツ・文化活動奨励奨学生	10万円単位で学費相当額まで	4月	1年	2年次以上または大学院に在学している学生	20名以内	スポーツおよび文化活動等で優れた成績をあげた学生。自薦・他薦とも可。 ※1 ※2 ※3
地域連携住居入居者育成支援金	6万円	10月	1年	全年次	条件達成者	高蔵寺ニュータウンの地域連携住居に入居し、地域連携住居入居規程に規定する入居区分がアドバンスコースであり、かつ、当該コースの活動内容を満たす者。 ※3
中部大学次世代研究者挑戦的研究プログラム	生活費相当額(18万円/月) ※9	入学前年度2月	3年	博士後期課程1年次	3名程度	優れた研究能力を有し、創発的な分野融合研究の実施を希望する者 ※10



中部大学次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING) に関する詳細は、ホームページを確認してください。

貸与

奨学金名称	金額	募集	期間	対象	採用人数	条件等
貸費奨学生	10万円以上、10万円単位で学費相当額まで	随時	各学期内	1年次秋学期以降	本学が認めた者	家計支持者の倒産、離職等で家計が急変した場合に選考。教育振興資金奨学生以外の本学貸費奨学生は出願できません。 ※2 ※3 ※4 ※5
特別貸費奨学生	30万円	4月	1年	3年次以上	50名以内	成績上位15パーセント以内で本学大学院進学希望の学生より選考。本学大学院博士前期課程を修了し、修士号を取得した学生は返還免除。 ※2 ※3 ※5 ※8
教育振興資金奨学生	30万円	4月9月	1年	4年次	15名以内	主たる家計支持者の失職等による家計急変により、経済上学費支弁が困難となった者で、人物に優れている学生のうちから選考。本学を卒業し、学士の学位を取得した学生は返還免除。 ※2 ※3 ※4
幸友会災害貸費奨学生	10万円単位で学費相当額まで	随時	同一人に対して1回限り	全年次	若干名	風水害等の被害で家計が急変した場合に選考。 ※2 ※3 ※6
大学院貸費奨学生	学費相当額	4月	1年	大学院に在籍している学生	毎年度はじめに大学が定める人数	経済上学費の支払いが困難になり、かつ日本学生支援機構奨学生に採用されなかった人。 ※3 ※7 ※8
大学院博士後期課程特別奨学生	授業料相当額ただし外国人留学生は授業料相当額の半額を給付	4月	在学期間中	本学大学院博士後期課程に在籍している学生	学年ごとの定数あり	成績、人物とも優れ、かつ課程修了が可能なこと。本学大学院博士後期課程を修了し、博士号を取得した学生は返還免除。 ※1 ※7 ※8

- ※1. 留学生はほかの奨学金との関係で併用できないことがあります。
- ※2. 中部大学特別奨学生、中部大学選抜奨学生は出願できません。
- ※3. 休学期間中の出願及び受給はできません。
- ※4. 外国人留学生は出願できません。
- ※5. 在学中は無利息、卒業後は10年以内に返還（有利子）
- ※6. 在学中は無利息、卒業後は10年以内に返還（無利子）
- ※7. 貸与を受けた次年度より10年以内に返還（有利子）
- ※8. 願出により最短の卒業年度まで弁済を猶予し、この期間中は無利子とします。
- ※9. その他、本事業における研究のために使用する費用、海外渡航などにかかる費用を支給します。
- ※10. 国費外国人留学生や特別研究員（DC）などの場合は、出願できません。



日本学生支援機構奨学金

高等教育の修学支援新制度（給付奨学金・授業料等減免）

本学は、「高等教育の修学支援新制度（給付奨学金・授業料減免）」の対象機関として文部科学省より認定を受けています。この制度は授業料・入学金の減免と、返還不要の給付奨学金の2つの支援内容から成り立っています。世帯収入の基準を満たす（支援区分により金額は異なる）学生が対象となります。支援を受けるためには成績だけではなく「学ぶ意欲」も重視されます。なお、理工農系の学生に対し中間層まで対象となるよう支援区分が拡充されています。また、2025年度より多子世帯の学生に対して、所得制限なく授業料、入学金を国が定める一定額まで無償化するように制度が拡充されています（完全に授業料が無償化される制度ではなく、減額支援のみです。また、自動的に減免される制度ではありませんので、ご注意ください）。

※在学生で前学期に授業料等減免に採用されている場合（当学期に認定外となる場合が明白な場合等は不可）、授業料は減免額を差し引いた金額を納付。入学時及び新規申込者は支援区分決定後還付。

奨学金名称	金額	支援期間
給付奨学金	月額 第Ⅰ区分 自宅通学 38,300円/自宅外通学 75,800円 第Ⅱ区分 自宅通学 25,600円/自宅外通学 50,600円 第Ⅲ区分 自宅通学 12,800円/自宅外通学 25,300円 第Ⅳ区分 (多子世帯) 自宅通学 9,600円/自宅外通学 19,000円 (理工農系※) 自宅通学 0円/自宅外通学 0円	標準修業年限内 (学業成績基準を満たさなくなった場合は支援が停止又は打ち切られます)
授業料等減免	入学金減免の上限額 260,000円 (1回限り)、授業料減免の上限額 700,000円 (年額) ①第Ⅰ区分は上限額の3/3、第Ⅱ区分は2/3、第Ⅲ区分は1/3、第Ⅳ区分 (多子世帯) は1/4、(理工農系※) は文系との授業料差額が減免額となります。 ②授業料の減免は春学期、秋学期の2回に分けて行います。 ③学期で定められた入学金・授業料が減免の上限額より低い場合は、学期で定められた入学金・授業料が減免額となります。	支援区分は毎年10月に見直されます。区分外の場合、支援は停止します。

※工学部・応用生物学部・理工学部：授業料等減免のみ。多子世帯の要件を満たす場合、多子世帯の支援が優先されます。

● **申込期間**：春4月、秋9月（申込関連の資料を配布。詳細は大学ホームページやTora-Net Portalで確認すること。）

※多子世帯（扶養している子どもが3人以上）に該当する場合は、春は2年前の12月31日時点での扶養状況で、

秋は1年前の12月31日時点での扶養状況で判定されます。

※既に給付奨学金の支給を受けている方は申し込み不要です。

● **採否（支援区分）決定**：春7月中旬以降、秋12月中旬以降

高等教育の修学支援新制度（家計急変採用）

生計維持者が死亡・事故又は病気により、半年以上就労が困難・失職又は震災・火災・風水害等、予期できない事由によって家計が急変し、給付奨学金・授業料等減免が必要となった場合に随時申し込みができます。

※日本学生支援機構奨学金（貸与型）にも奨学金を緊急に必要とする学生を対象とした緊急採用（第一種奨学金）・応急採用（第二種奨学金）の制度があります。



貸与奨学金

返還の必要がある奨学金です。選考には学力と家計の基準があります。採用後、学業成績不振等により、打ち切られる場合があります。貸与期間は標準修業年限内です。

※大学院の奨学金は金額・資格等が異なります。詳細は奨学金窓口までお問合せください。

奨学金名称	金額	採用基準	備考
第一種奨学金	月額 自宅通学：20,000、30,000、40,000、54,000円の中から選択 自宅外通学：20,000、30,000、40,000、50,000、64,000円の中から選択 ※高等教育の修学支援新制度の支援を受けている期間は金額が減額又は0円に調整されます（併給調整）。	学費支弁が困難で学力が特に優秀な学生(学業成績)1年生は高校成績評定平均3.5以上。大学での成績が判明している場合は上記に加え、学部学科上位1/3以内。2年生以上は学部学科上位1/3かつ修得単位数以上。外国人留学生は申込不可。	卒業後に返還(無利子)
第二種奨学金	月額 20,000、30,000、40,000、50,000、60,000、70,000、80,000、90,000、100,000、110,000、120,000円から選択	出身学校または大学での成績が平均水準以上もしくは学修に意欲があり学業を確実に終了する見込みがあること。外国人留学生は申込不可。	卒業後に返還(有利子)

● **申込期間**：春4月、秋9月（申込関連の資料を配布。詳細は大学ホームページやTora-Net Portalで確認すること。）

● **採否決定**：春7月中旬以降、秋12月中旬以降

● **連絡先**：中部大学学生支援課 日本学生支援機構奨学金窓口 TEL：0568-51-9315

その他の各種奨学金

その他の奨学金制度には、**全国の地方公共団体・民間育英団体・企業などの募集**によるものがあります。募集は大学を通して行われるものと、直接その団体に応募するものがあります。これらの奨学金の募集は、通知があり次第、キャンパスプラザ1階の奨学金関係掲示板でお知らせします。

公的な支援制度

日本政策金融公庫の教育一般貸付（国の教育ローン）

融資額	学生1人につき350万円以内
返済期間	18年以内
問い合わせ先	日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター 0570-008656

都道府県社会福祉協議会

「生活福祉資金貸付制度（教育支援資金）」

貸付限度額	教育支援費 月額6.5万円以内（例外あり） 就学支度費 50万円以内
返済期間	据置期間経過後20年以内
問い合わせ先	各市区町村の社会福祉協議会

進路決定までのサポート

きめ細やかな支援体制で、学生を手厚くサポート

個人によって就職の考え方は違うため、キャリア支援課では価値観や個々の事情に沿った指導を心がけ、一人一人と向き合っています。また、教職員が一丸となり学生全員の進路希望を把握し、納得のいく進路が実現できるようサポートしています。



●全学生対象！就職支援プログラム

2年生の秋学期からスタート。自己分析、卒業生との交流会、業界・職種研究、履歴書作成ワークショップなど開催。

●筆記試験対策

企業の採用選考で実施されるSPI試験など筆記試験対策としてe-learning教材「就活ドリル」を提供。



●個別支援

対面・オンラインの両形式で個別の就職相談を実施。

正課科目インターンシップもあります

主に学部3年生を対象にインターンシップ科目を設置。企業などで研修生として働き、就業体験を積む機会を設けています。

これからの学生時代にやっておくと良いこと

●人と接する機会を多く持とう

まずは同世代、次に世代を超えて。人の話をよく聞き、理解する、その上でしっかり自分の意見を言えるようになるろう。

●自分で考え、自分で行動した経験を増やしておこう

人は経験から成長できます。クラブ活動や留学、ボランティア活動などさまざまなことに挑戦しよう。

●がんばったと言える経験をしよう

就職面接で必ず聞かれる質問

「あなたが学生時代に力を入れて取り組んだことは？」

就職活動や進路に関する
さまざまな疑問、不安、悩みに応じます。

求人紹介／履歴書添削／面接練習などサポート。
お気軽にお越しください。

キャリア支援課：不言実行館5階（平日9～17時）



学生生活における 注意事項

Notes on Student Life

大学生活における注意事項

“ 大学生になった皆さんは、すべてのことに対し「一人の大人」として、全て自分自身で判断し、責任をもって行動をしなければなりません。その自覚を持つために、所謂「当たり前」のことを「当たり前」に行える学生になりましょう。以下の内容を確認し、今一度、自らの言動について考えてください。 ”

●迷惑駐車/迷惑運転をしない

指定された駐車枠以外に車両を停める、商業施設（コンビニ等）や他人の駐車場、道路上に駐車するなど、マナーの悪さが目立っています。車両の通行の妨げになり、他の利用者にも多大な迷惑を掛けるだけでなく、事故の原因にもなります。迷惑駐車は絶対しないでください。また、空ぶかし等も周囲の迷惑となる行為ですので、絶対に行わないでください。

近年、若者のバイク・自動車事故が目立っています。免許を取ったばかりの運転はやはり危険で、どれだけ安全運転を心がけても事故を起こす可能性はあります。もしも事故があったときには、その場の示談交渉はせず必ず警察に連絡してください。



●交通

自転車・バイク・自動車の運転では事故の被害者にも加害者にもなることがあります。ちょっとした不注意が人の命を奪うこともあるため、交通ルールを守るのはもちろんのこと常に安全運転を心がけましょう。また、2026年4月1日より自転車の交通違反に対して「青切符」が交付され、反則金が科される制度が全国で施行されました。これにより、これまで注意や指導にとどまっていた違反行為にも反則金が科される場合があります。

自転車・バイク通学のいずれの場合でも必ず登録を行い、ルールを守って利用してください。

●下宿

「自分さえよければ（楽しければ）、他人のことは気にしない」「ちょっとくらいなら、...」といった自分勝手な考えで、夜間に大きな音や話し声を出したり、ゴミ出しの曜日時間を守らなかつたり、駐車・駐輪場所を守らなかつたりすることは、近隣住民にも多大な迷惑をかけることに直結します。「隣人だったらどう感じるのか」「近隣住民に迷惑をかけないために」等の考えを常に持ち、行動しましょう。

また、夜間の外出は控える、訪問者も容易にドアを開けずに対応する、空き巣のターゲットにならないよう長期不在時は郵便局に不在届を出す、集合ポストに鍵をかける等、常日頃から防犯意識をもつようにしましょう。

●インターネット上での発言に注意

ブログ・掲示板・SNS（Instagram・LINE・X（旧Twitter）等）、動画共有サイト（YouTube等）の多様なサービスが提供されるソーシャル・メディアは、他人の書き込みを見ることが可能な反面、不特定多数の人に自身の書き込みを見られてしまいます。「軽い気持ちで」「冗談半分で」「友人と雑談する感覚で」書き込んだことがもて、大きなトラブルを引き起こしてしまうことがあります。誹謗中傷や自分や他人の個人情報の吐露は絶対に行わないようする等、インターネット上での発言には十分に注意をしましょう。



●タバコ

本学では、すべての学生や教職員等が快適かつ健康的な学習環境を維持できるよう、電子タバコを含めて「学内全面禁煙」としており、指定された喫煙所以外での喫煙行為を一切認めていません。指定場所以外での悪質な喫煙行為が確認された場合、懲戒を含む厳重な処分を科す場合があります。加えて、20歳未満の喫煙は法律で禁止されています。これは、健康を守り、健全な成長を促すための規制です。皆さまにはこの法律を厳守いただくとともに、喫煙をしない健康的な生活を選択していただきたいと考えています。喫煙は健康への悪影響が科学的に明らかになっているだけでなく、受動喫煙による周囲の人々への悪影響も深刻ですので注意しましょう。

●お酒

学生が急性アルコール中毒で死亡する事故が毎年起こっています。アルコールでの死亡事故は、みなさんの身近にある死亡事故です。先輩や友人に無理に勧められてもしっかりと断り、また、飲酒の強要も絶対に行わないようにしましょう。飲酒をして運転をすることももちろん厳禁ですが、友人が飲酒運転するのを黙認したり、同乗したりすることも決して行ってはいけません。



●身近にある犯罪

日常生活の中でも知らず知らずのうちに罪を犯してしまっている場合がありますので、十分に注意してください。

1.無断キャンセル

飲み会のためにとりあえず複数のお店に予約を入れ、作画的にキャンセルしない場合には偽計業務妨害となることがあります。 unnecessary 予約はせず、キャンセル時は必ず連絡をしましょう。



2.チケット転売

転売目的のチケットの購入・販売はチケット不正転売禁止法で禁止されています。転売目的ではない購入・販売は正規のサイトを使いましょう。



3.違法ダウンロード

有料の音楽や映像を違法配信されたものであると知りながらダウンロードすることは犯罪です。コピー防止機能を解除するリッピングも違法です。



4.無断充電

充電するために設置されたものではないコンセントで勝手に充電してはいけません。どうしても充電が必要な場合にはお店の人に確認してください。

5.著作権侵害

全ての著作物には「著作権」があります。著作物とは「思想または感情を創作的に表現したものであって、文芸、学術、美術または音楽の範囲に属するもの」と定められています。著作権は著作物が創作されれば、特別な手続きがなくても自動的に発生するので、誰かが書いたレポートやブログの文章、SNSにアップした写真にも著作権があります。許可なく著作物を使用した場合、著作権の侵害となりますので、気を付けてください。

●アルバイト

生活費等をまかなうために、やむを得ずアルバイトをする学生も多いですが、アルバイトが忙しくて授業に出席できず、単位を落としてしまったのでは本末転倒です。最近では知らないうちに犯罪に加担していたり、だまされてお金を請求されたり、身体に危険を伴うアルバイトもありますので、注意が必要です。また、「学生であることを尊重しないアルバイト」とされるいわゆる「ブラックバイト」も問題となっています。バイト先の人の言うことを鵜呑みにするのではなく、アルバイトの内容が事前に聞いていた内容と大きく違う、給料や残業代が支払われない、やめたいといっても断られる等、おかしいと思ったら迷わずに身近な社会人や専門窓口にご相談するようにしましょう。

●学生教育研究災害保険の対象となる傷害

1. 正課中
講義・実験・実習・演習または実技による授業中及びそれらに関する研究活動中の傷害事故。

2. 学校行事中
大学が主催する入学式・オリエンテーション・卒業式など行事中の傷害事故。

3. 学校施設内にいる間
上記①②以外で、大学が教育活動のために所有、使用または管理している学校施設内にいる間の傷害事故。

4. 課外活動中
大学の規則に則った所定の手続きにより、大学が認めた学内学生団体の行う活動中の傷害事故。

5. 通学中
大学の授業等、学校行事または課外活動への参加の目的をもって、合理的な経路及び方法により住居と学校施設等との間を往復する間の傷害事故。

6. 学校施設等相互間の移動中
大学の授業等、学校行事または課外活動への参加の目的をもって、合理的な経路及び方法により大学が教育研究のために所有している施設の他、授業等、学校行事または課外活動の行われる場所の相互間を移動している間の傷害事故。

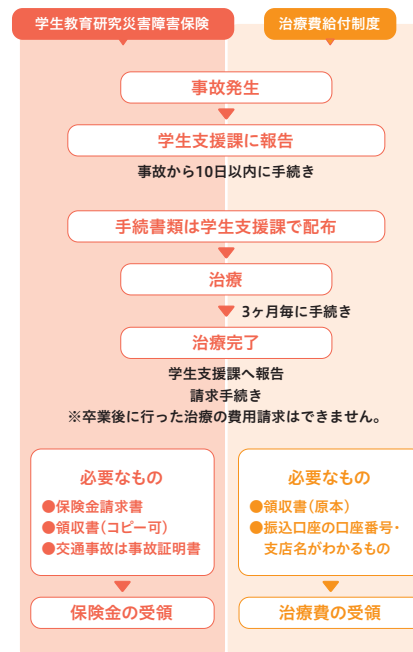


正課中または課外活動中にケガをした場合は

●治療費給付制度と学生教育研究災害傷害保険

本学では、学内外における正課中及び課外活動中に起こった学生の傷害について、本学独自の治療費給付制度を設けています。さらに、正課中・課外活動中・通学中等に起こった傷害を補償する学生教育研究災害傷害保険に加入しています（生命医学科、保健看護学科、理学療法学科、作業療法学科、臨床工学科、幼児教育学科、現代教育学科の学生は学研災付帯賠償責任保険にも加入しています）。治療費給付制度は治療費の補償を目的としており、最高30万円まで給付されます。正課中・課外活動中・通学中等にケガをした場合は速やかに学生支援課へ報告し、手続きをしてください。

一定期間内に報告及び手続きのない場合は、治療費・保険金が給付されないので、注意してください。



落とし物をした場合・拾った場合

学内での遺失物の取り扱いは、学生支援課にて行っています。遺失物を拾得したときは、直ちに学生支援課に届け出てください。届けられた拾得物のうち、持ち主の分かる物についてはTora-Net Portal 等にて本人に連絡しますので、持ち物には必ず記名をしてください。また、一定期間の過ぎたものについては処分の対象になりますので、速やかに確認してください。なお、遺失物の問い合わせは本人が直接、学生支援課に行ってください。



●詐欺・悪質商法・悪質な団体

学生を相手にした詐欺・悪質商法は後を絶たず、より悪質化、巧妙化しています。自分は大丈夫、だまされないと思わず、少しでもおかしいと思ったら親や以下の公的機関に相談しましょう。

もし被害にあった場合の相談窓口

- 消費者ホットライン「188」に相談してください。(全国共通の電話番号から身近な消費生活相談窓口を案内します。) 12月29日～1月3日を除いて、原則毎日利用可 Tel: 188
- 愛知県消費生活総合センター 月～金 9:00～16:30 土・日 9:00～16:00 Tel: 052-962-0999



●薬物

学生の薬物乱用による事件が大きな社会問題となり、薬物の危険が身近に迫っています。薬物はたった一回の使用でも薬物依存のスパイラルに陥り、抜け出すことができなくなります。薬物依存となった脳は元に戻ることはなく、その依存性から自身でコントロールをすることができず、使用を繰り返してしまい障害が残ることや死に至ることもあります。先輩や友人に誘われても、決して手を出さないようにしましょう。



中部大学における個人情報保護方針

“ 高度情報化社会の急激な進展に伴い、個人情報の保護は社会的にも国際的にもきわめて重要な課題となっています。本学では、個人情報保護の重要性を深く認識し、個人情報の適正な取り扱いに関し、以下の取り組みにより、その責務を果たすことを宣言します。 ”

(1) 個人情報の適切な取得、利用、提供を行います。

- 個人情報は適法かつ公正な手段によって取得します。その際には、利用目的や利用範囲を明確にして、これを本人に通知又は公表します。
- 取得した個人情報の目的外利用は一切行いません。
- 法令に定める場合を除き、本人の同意なく個人情報の第三者への開示・提供は行いません。
- 業務の一部を企業へ委託する場合は、守秘義務契約等によって業務委託先に個人情報保護を義務付けるとともに、その扱いを管理・監督します。

(2) 個人情報の管理に万全を尽くします。

- 本学は、個人情報の正確性を保ち、これを安全に管理します。
- 個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えい等を防止するため、不正アクセス対策、ウイルス対策等適正な情報セキュリティ対策を講じます。



(3) 個人情報の開示等について適切に対応します。

- 本学は、本人が自己の情報について、開示・訂正・利用停止・削除等を求める権利を有していることを確認し、これらの請求がある場合には速やかに対応します。

(4) 法令を遵守するとともに、規程等を定め徹底します。

- 個人情報の取り扱いに関して、法令を遵守するとともに、個人情報の適切な取得・管理・利用等を行うための規程等を策定、実施し、また継続的な見直し、及び改善を行います。
- 個人情報管理責任者を定め、個人情報の適切な管理を実施します。
- 全ての職員に対し、個人情報の保護及び適正な管理方法等について教育・啓発を行い、日常業務における個人情報の適切な取り扱いを徹底します。

(5) 上記その他の個人情報に関する問い合わせ窓口を設置します。

- 問い合わせ窓口：総務部総務課



定義 ～ハラスメントとは何か？～

次に掲げる用語の意義は、日本国憲法、男女共同参画社会基本法、男女雇用機会均等法、文部科学省の規程等を踏まえ、そのすべてを総称してハラスメントと呼びます。

●セクシャル・ハラスメントとは

相手を性的な言動や差別的な態度により不快にし、尊厳を傷つける行為をいいます。「性的な言動」とは、性的な関心や欲求に基づく言動という意味で、性的ないじめや攻撃も含まれます。また、性別による分担意識に基づく言動も含まれます。被害者は男女や同性に関わらず、就学や就業の環境により発生する可能性があります。

●アカデミック・ハラスメントとは

教育研究上の優越的な地位を利用して、学生・生徒や他の教職員等に対し、不利益や身体的・精神的苦痛を与える行為をいいます。研究や教育指導、暴力的な言動などが含まれ、相手に身体的・精神的な傷害をもたらすことが該当します。

●パワー・ハラスメントとは

人間関係において、地位や立場の関係から起こる優位性を背景に、適正な範囲を超えて、身体的・精神的苦痛を与える、または就学・就労の環境を悪化させる行為をいいます。

●その他の人権侵害行為とは

人種、民族、信条、性別、社会的身分、門地、障がい、疾病等、広く人格にかかわる事由による差別は人権侵害行為に該当します。

対象と範囲

この指針は、本学園の役員、教職員、学生・生徒および関係者を対象とします。

なお、役員及び教職員については離職後、学生・生徒については卒業・退学などで本学園の籍を失った後においても、在職中または在学中に受けたハラスメントに関する相談を行うことができます。また、加害者と

される者が既に離職または籍を失っている場合であっても、その者が在職中または在学中に行ったことであれば相談を行うことができます。この場合、本学園はその権限の及ぶ限り、事実関係の解明と適切な措置をとるよう努めます。

学園としてのハラスメント対応

ハラスメントに関する訴えおよび救済の申立などの相談に対し、相談窓口、相談委員およびハラスメント調査委員会が適切かつ迅速に対応します。相談にあたっては、相談者および関係者のプライバシーや名誉、その他人権を尊重するとともに、知り得た秘密を厳守し、相談者に不利益を被らないように努めます。

(1) 相談窓口を設け、相談窓口担当者を置きます。

1. 相談の申出は、どの相談窓口でも利用することができます。
2. 相談は友人や同僚など、第三者による申し出も受け付けます。
3. 相談申し出の受付は、その内容を他者に見聞きされないよう、周りから遮断された場所で行います。
4. 相談窓口担当者は、相談者にとって最もよいと思われる対応を検討するとともに、必要に応じ相談委員へ引き継ぎます。
5. 相談者は相談窓口において相談しやすい相談委員を指名することができます。

(2) ハラスメントに関する相談を担当する相談委員を置きます。

1. 相談委員はできる限り速やかに相談に応じます。
2. 相談には、原則として2人の相談委員が対応し、必要な場合は、相談者と同性の相談委員が同席するように努めます。
3. 相談委員は相談者の同意を得たうえで、直ちに事情聴取などを含めて事実確認などを行います。
4. 事態が深刻で、相談委員がハラスメント調査委員会を取扱うことが適切と判断した場合は、相談者の承諾を得たうえでハラスメント調査委員会にその案件を委ねます。

ハラスメントの防止について

基本理念

本学園は、すべての学生・生徒および教職員が個人として尊重され、お互いに信頼しあって就学または就労できる環境をつくり、これを維持していくことを何よりも重要だと考えます。

本学園は、いかなるハラスメントも許さず、誰もが人権を尊重し、学業、教育研究及び業務に専念できる環境の確保に積極的に取り組みます。

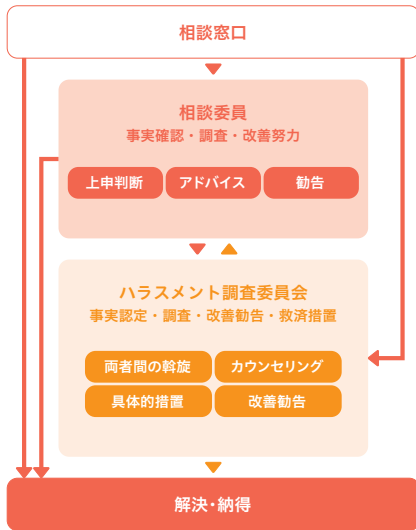
趣旨

本学園は、基本理念に基づき、キャンパスで起こりうる様々なハラスメントの防止・対策に努めます。また、万一の事態が発生した場合は、迅速かつ適正な対処に最善を尽くすため、本学園におけるハラスメントの定義を明らかにし、被害にあった学生・生徒および教職員が安心して相談できる窓口の整備を行い、適切な調査と慎重な手続きを経たうえで、効果的な対応に努めます。

(3) ハラスメント防止のための対策などを講ずるハラスメント対策委員会を置きます。

1. ハラスメントが生じるような環境・習慣がある場合はその改善策を講じます。
2. 学生・生徒および教職員などに対して、パンフレットの配布などの啓蒙活動を通じてハラスメントの防止に努めます。
3. 定期的に講演会や研修会を行い、ハラスメントに関する理解に努めます。
4. 相談委員・相談窓口担当者に対して、求められる知識・スキル、役割および責任について認識を深めるよう研鑽に努めます。

学園のハラスメント相談の流れ



ハラスメント相談窓口と相談方法

- 電話または対面による相談受付
- 電子メールによる相談受付（専用アドレス）
chubu-sodan@fsc.chubu.ac.jp
- 手紙による相談受付
〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200
中部大学 学生相談室 宛

相談窓口一覧 (2026年4月1日時点)

相談窓口	場所	電話番号
学生相談室	キャンパスプラザ3階	0568-51-9843
保健管理室	9号館1階	0568-51-4428
教務支援課長	不言実行館4階	0568-51-4593
学生支援課長	不言実行館4階	0568-51-4697
スポーツ・文化センター事務課長	不言実行館4階	0568-51-5142
工学部事務室事務長	7号館2階	0568-51-4319
経営情報学部事務室事務長	21号館3階	0568-51-4067
国際関係学部事務室事務長	20号館3階	0568-51-4079
人文学部事務室事務長	25号館1階	0568-51-4144
応用生物学部事務室事務長	30号館6階	0568-51-4152
生命健康科学部事務室事務長	50号館2階	0568-51-5097
現代教育学部事務室事務長	70号館2階	0568-51-4690
理工学部事務室事務長	7号館2階	0568-51-4319

こちらもあわせてご覧ください

「ハラスメントの防止等に関する指針(学園Webページ)」で詳細情報やパンフレットを公開しています。



キャンパスライフをスムーズに 大学生活全般の支援窓口

Support Desk for General Student Life

窓口

キャンパスライフをスムーズに

以下の窓口は、4年間の学修、課外活動、就職、その他の大学生生活全般にわたって、支援を行うところです。

不言実行館

学生サポートセンター 事務課	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生生活全般 ● 学修・修学上の配慮 ● 夢・チャレンジ『ちゅとらボ』 ● 幸平塾 	3F
教務支援課	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業・履修・成績全般に関すること ● 各種証明書（通学証明書、健康診断証明書を除く）の発行等 	4F
学生支援課	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生生活全般に関すること ● 各種願・届の受付、通学証明書・健康診断証明書等の発行、奨学金関係、傷害保険等 	4F
スポーツ・ 文化センター事務課	<ul style="list-style-type: none"> ● クラブに関すること 	4F
日本学生支援機構 奨学金窓口	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本学生支援機構奨学金 	4F
キャリア支援課	<ul style="list-style-type: none"> ● 就職活動全般に関すること ● 各種就職ガイダンスと個別面談による就職指導、また様々な就職情報の提供と就職の斡旋 ● インターンシップ全般 	5F
教職課程センター 事務課	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員免許取得に関すること ● 教育実習、保育実習に関すること 	5F

● 窓口業務時間・場所

授業日・期末試験日：月曜日～金曜日 9：00～17：00

上記以外：月曜日～金曜日 9：00～15：00

※学期初めの繁忙期は、平日に限り窓口時間を18時まで延長する期間を設けます。

※土、日、祝日（授業日を除く）の窓口業務は行いません。



主な事務室・センター等・窓口

内容

場所

工学部事務室・理工学部事務室		7号館2階
経営情報学部事務室		21号館3階
国際関係学部事務室		20号館3階
人文学部事務室	学部学科に関すること	25号館1階
応用生物学部事務室		30号館6階
生命健康科学部事務室		50号館2階
現代教育学部事務室		70号館2階
人間力創成教育院事務室		20号館11階
国際交流センター（国際交流課）	海外留学、国際交流に関すること	キャンパスプラザ2階
地域連携センター（地域連携課）	地域創成メディエーター、リスク予防管理士等に関すること	
学生相談室	学生生活相談（専門カウンセラー対応）	キャンパスプラザ3階
保健管理室	けがや体調不良・健康診断等	9号館1階
睡眠相談室	睡眠に関する相談	
学習支援室	基礎科目に関しての学習支援	
コンピュータ・サポートデスク	PC相談全般	10号館1階
ハラスメント窓口	ハラスメントに関すること	32ページ参照



不言実行館 ACTIVE PLAZA 1~3階

不言実行館 ACTIVE PLAZA の1~3階は、学生のみさんの主体的な学修や活動を行うための施設で自由に利用できます。1人~多人数まで対応した施設で、自習やプレゼンテーションの練習、ディスカッション、ミーティングなどさまざまな用途に利用できます。

5階にもミーティングや勉強会などに利用できるスペースがあります。



1F

アクティブホール

アクティブホールは324名収容できる多目的ホールです。プロジェクタから投影壁に映し出される200インチの画像は圧巻です。各種講演会、プレゼンテーションやゼミの発表練習などで利用できます。学生のみさんだけで利用することもできますので、3階の学生サポートセンター事務課で申し込みをしてください。

スチューデント・commons

学生同士の新たな出会いや交流を生むオープンな空間です。人間力とコミュニケーション能力の向上がこのエリア最大の目的です。人数や目的に合わせ、机と椅子を自由に動かして利用できます。

利用可能時間
授業日・期末試験日：平日 9:00-20:30
上記以外：平日 9:00-16:30



2F

ラーニング・commons

レポート作成などの自習ができるクワイエットルーム、少人数のミーティングにぴったりのアクティブボックス、グループスタディース、プレゼンテーションルームなど多様に富んだ「学び」のフロアです。

利用可能時間
授業日・期末試験日：平日 9:00-20:30
上記以外：平日 9:00-16:30

3F



commonsコンシェルジュ

commonsコンシェルジュとは、学生のみさんの様々な『したい』を実現するためにアドバイスをくれる教員のことです。学生のうちに貴重な経験をたくさんしたい、ゼミの発表を成功させたい、しっかりとしたレポートを書きたい、充実した学生生活を送りたいけれど何を始めたらよいかなど、まずはコンシェルジュを訪ねてみませんか。みなさんと一緒に良い方法を考えます。3階カウンターでお待ちしています。



commonsサポーター

commonsには、commonsサポーターというインターンシップの学生スタッフが常駐し、利用者の活動をサポートしています。施設の予約受付やICT機器使用方法の案内、イベントの企画・運営を行います。施設や機器の説明だけでなく、それらを有効に活用した利用方法など、学生目線の提案やアドバイスも行います。不明なことは気軽に聞いてください。



学生サポートセンター
学生生活・学修・修学上の配慮に関する相談
夢・チャレンジ「ちゅとらボ」、幸平塾

不言実行館 ACTIVE PLAZA 4階

(学生支援課、スポーツ・文化センター事務課、教務支援課)

- 学生支援課**
 - 学生生活全般に関すること
 - 各種願・届の受付、通学証明書・健康診断証明書等の発行、奨学金関係、傷害保険等
 - 日本学生支援機構奨学金窓口
- スポーツ・文化センター事務課**
 - クラブに関すること
- 教務支援課**
 - 授業・履修・成績全般に関すること
 - 各種証明書（通学証明書、健康診断証明書を除く）の発行等

証明書等一覧 ※原則、証明書自動発行機から即時発行されます。

● 証明書自動発行機
 学生証を使用して自動発行ができます。学生証の再交付を願い出た場合、交付されるのは、再交付願を学生支援課に提出した翌営業日以降です。学生証が無い場合は証明書自動発行機の利用・各種証明書の発行ができません。

取扱窓口	種別	発行手数料	備考
学生支援課	学生証紛失届及び再交付願 ^{※1}	1,500円	事前に学生支援課に申し出ること
	駐車場利用登録申請書	2,000円	
	名鉄バス中部大学線定期乗車券	23,000円	定期乗車券が出力されます
	学割証（学校学生生徒旅客運賃割引証）	無料	有効期限：発行後3ヶ月
教務支援課	健康診断証明書	200円	最終学年のみ発行可能。未受診者は発行不可
	在学証明書	200円/500円	和文/英文
	学業成績（単位修得）証明書	200円/500円	和文/英文
	卒業・修了見込証明書	200円/500円	最終学年のみ発行可能。和文/英文
	受験許可証発行願	500円	期末試験・追試験のみ有効。翌日までに返却が条件
	各種資格取得見込証明書 ^{※1}	200円	事前に教務支援課に申し出ること
	学力に関する証明書（教員免許用） ^{※1}	200円	事前に教務支援課に申し出ること
	教育職員免許状取得見込証明書	200円	発行対象者として認められた者のみ発行可。和文
	指定保育士養成施設卒業見込証明書	200円	発行対象者として認められた者のみ発行可。和文
	履修中科目証明書	200円	和文

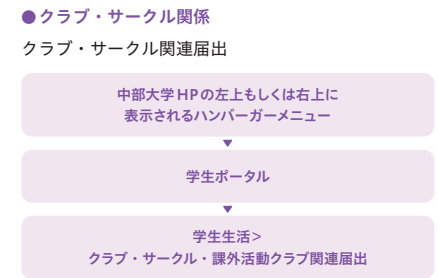
※1は申込用紙が自動発行されますので、各取扱窓口にて提出してください。発行手数料は、現金以外に交通系ICカードでスムーズに決済できます。

願出・届出書類一覧

取扱窓口	種別	備考
学生支援課	休学願	病気・怪我（診断書添付）、その他やむを得ない理由により2ヶ月以上欠席するときは、休学願を提出することができます。詳細は14ページ参照。
	復学願	休学者が復学するときは、所定の復学願を提出します。病気・怪我の回復による復学の場合は、修学に支障がないことを証明する書類（診断書）を添付してください。詳細は14ページ参照。
	退学願	病気・怪我（診断書添付）、その他やむを得ない理由により退学しようとするときは、退学願を提出してください。詳細は14ページ参照。
	学費延納願 ^{※1}	やむを得ない事情で学費延納を希望する場合は、願い出てください。詳細は19ページ参照。
	学内諸活動に関する申請書	学内施設の使用（講義室・体育館）や車両入構、立て看板の設置、文書配布、物品借用等願出は、所定の申請書を提出し許可を得てください。
	欠席届 ^{※1}	授業日に病気・急引等により欠席した場合、欠席届を提出することができます。ただし、欠席事由を証明できる書類を添付してください。提出は任意です。
	改姓名届 ^{※1}	本人が改姓・改名したときは、戸籍抄本を添えて届け出てください。
	姓名表記変更届 ^{※1}	入学時に提出した書類の不備等により、戸籍の姓名と大学登録の姓名が異なっていた場合、住民票等を添えて届け出てください。
	本人住所等変更届 ^{※1}	市町村合併・住居移転等により、本人の住所が変更されたとき、その都度届け出てください。Tora-Net Portalからも変更できます。
	保証人氏名・住所等変更届 ^{※1}	保証人および住所等変更の場合は、速やかに届け出てください。
教務支援課	再入学願	退学者または除籍者（学則第36条第5号の該当者）が再入学を希望するときは、所定の願書に健康診断書および検定料を添え3月1日から3月7日までに手続きをしてください。詳細は14ページ参照。
	転学部・転学科願	願い出により2年次または3年次に転学部・転学科が許可されることがあります。詳細は15ページ参照。

※1の願出・届出書は、【中部大学HPの左上もしくは右上に表示されるハンバーガーメニュー>学生ポータル>申請・届出>証明書・願・届】よりダウンロードするか学生支援課に取りに来てください。

● 学生の異動
 休学・休学延長・復学・退学の手続きをしようとする場合、原則として学期開始前に所定の書類を提出してください。



不言実行館 ACTIVE PLAZA 5階 (キャリア支援課・教職課程センター事務課)

キャリア支援課

- 就職活動全般に関すること。
- 各種就職ガイダンスと個別面談による就職指導、また様々な就職情報の提供と就職の斡旋。
- インターンシップ全般。

教職課程センター 事務課

- 教員免許取得に関すること。
- 教育実習、保育実習に関すること。



5F IL Group Career Hub

IL Group Career Hub A、B、Cという16~38人まで収容できるスペースがあります。ミーティングや勉強会だけでなく、交流会を催すなど使い方を自由にクリエイトできます。利用を希望するときは、3階の学生サポートセンター事務課で手続きをしてください。



詳しくは学生サポートセンター
ホームページをご覧ください。

充実した学生生活を

Enjoy a Fulfilling Student Life

留学フェア

毎年4月に開催！リアルな留学情報が聞けます！経験者からの留学体験や日本にきている留学生から現地情報が聞ける貴重な機会です。各プログラムの情報をゲットしましょう。

※日程などの詳細はホームページでご確認ください。



奨学金制度

留学する学生に対する奨学金制度（全て給付型で返済不要）も充実しています。



- **中部大学長期研修参加奨励奨学金**
参加者全員に10万円支給
- **中部大学長期研修特別奨学金**
最大20人に20万円を支給
- **中部大学海外派遣留学奨学金**
地域により月額6～8万円を支給
- **日本学生支援機構海外留学支援制度**
地域により月額8～11万円を支給（年度により受給者数は変動）
- **中部大学海外短期研修奨学金**
短期研修の参加者数に応じて各プログラム最大8人に10万円支給
- **中部大学大学院進学者短期研修奨学金**
最大20人に20万円を支給
- **オハイオ大学大学院留学奨学金**
大学院授業料免除・生活費支給

※2025年度現在

派遣留学

交換留学生として1学期～1年間、協定大学で学びます。

- アメリカ・オハイオ大学
- オーストラリア・ニューイングランド大学
カトウシハン
- 中国・華東師範大学
- 中国・ハルビン理工大学
- 中国・外交学院
- 韓国・圓光大学校
エンゴフ
- 韓国・大邱大学校
テグ
- 台湾・中国文化大学

※この他の協定大学については国際交流センターでご相談ください。



留学

お問合せ先：国際交流センター（キャンパスプラザ2階） chubu-global@fsc.chubu.ac.jp



中部大学では、22か国・地域の67大学・機関と学術交流を結んでいます。国際交流センターでは、海外への派遣留学や長期・短期研修をはじめ、海外からの留学生との交流や語学に関する支援を行っています。



オハイオ大学長期研修

2年次春学期の4か月間、アメリカ・オハイオ大学で学ぶプログラムです。英語、異文化コミュニケーション、体育、文化体験などの授業を受講し、学生寮でオハイオ大生と一緒に生活します。英語が苦手でも参加が可能ですので、初めての留学に1人で挑戦するのは不安だという方におすすめです。現地で修得した学業成績により、中部大学の単位として認定され、原則4年間での卒業が可能です。



短期研修

長期休業中に実施される10日～1か月の研修です。

- カナダ・バンクーバー英語短期研修（夏）
- 韓国・大邱大学校韓国語短期研修（夏）
- マレーシア科学大学体験型研修（夏）
- オーストラリア・グリフィス大学英語短期研修（春）
- メキシコ・グアナフアト大学スペイン語短期研修（春）
- 中国・外交学院中国語短期研修（春）
- 東南アジア体験型研修（春）
- 大学院進学者短期研修（春）

※この他、学部・学科等が実施する短期研修もあります。



語学

語学を身につけるための環境やサービスが充実しています。



PASEO

アメリカ・オハイオ大学が認定した教員による全学対象の英語プログラム。単位修得も可能です。



いつでも Talk! オンライン英会話

在学生はインターネット接続可能な場所ならどこからでも、無料で受講可能です。



無料で利用できる英語学習教材

- ATR CALL BRIX
- EEVideo

※いずれも自宅からでも利用可能

カンパセーションアワー

カージック・ラウンジ（20号館2階）で外国語を話す教職員との会話を楽しめます。



英語の資格試験

TOEFL ITPとCASECを実施しています。



国際交流

留学以外にも、キャンパス内で留学生やネイティブ教員との交流が活発に実施されているので、あなたにぴったりの活動を見つけましょう。学内の国際交流についてはこちら！



カンパセーションパートナー制度

日本語学習中の留学生と中部大生が少人数のグループになり、毎週1回1時間程度日本語で会話をします。学内で会って話すだけでなく、カフェや旅行に出かけてもOK！学期末には懇親会で活動報告をします。



D.I.Table (ディー・アイ・テーブル)

木曜日の昼休みは留学生と一緒にGlocal Seminar Room（19号館2階）でランチしませんか。言語は何でもOK！学部や学年の垣根を超えて、留学や海外に興味を持つ仲間にも出会えますよ。



RA (レジデント・アドバイザー)

毎日が国際交流！キャンパス内の留学生寮と一緒に生活して短期留学生の生活をサポートします。国際感覚やリーダーシップ、ボランティア精神などが磨かれます。うれしい寮費の割引制度もあります。



Glocal Seminar Room/ Language Lounge

2024年9月、19号館2階にリニューアルオープン。ガラス張りの開放的な空間のため気軽に出入りでき、新たな自習・交流スポットに。書棚には語学テキストやガイドブック、英訳コミックもあります。



学長認定資格： 地域創成メディエーター・リスク予防管理士

学長認定資格：地域創成メディエーター・リスク予防管理士

お問合せ先：地域連携教育センター（キャンパスプラザ2階） chubu-chiiki@fsc.chubu.ac.jp



地域連携教育センターでは、「地域連携」「生涯学習」の窓口として、地域社会と大学を繋ぎ、双方の発展に貢献する活動に取り組んでいます。また、学長認定資格の「地域創成メディエーター」および「リスク予防管理士」の資格取得に関する支援を行っています。



地域創成メディエーター



●地域創成メディエーターとは

地域の人と人を結びつける役割を担うメディエーター（媒介者）として、地域の課題に主体性をもって取り組み、中部大学の建学の精神「不言実行、あてになる人間」に基づき、実践力、応用力、人間力が培われた学生に認定される資格です。

地域の幅広い年代の人と関わることで、自分の適性判断の参考にでき、就職活動の際も活動実績を企業にプレゼンテーションする力を養うこともできます。



詳しくはこちらをご覧ください。

リスク予防管理士



●リスク予防管理士とは

産業界のニーズに対応した「リスク予防とリスク管理」を総合的に修得した学生に認定される資格です。リスク予防管理の基礎を学ぶ「基本講座」をはじめ学部を越えて受講できる「専門領域講座」や、企業への見学を通して産業界が必要とするリスク予防・リスク管理能力を身につけることができます。



詳しくはこちらをご覧ください。



中部大学の様々な施設

Various facilities of Chubu University

中部大学附属三浦記念図書館

図書館は地上3階地下2階で全館Wi-Fi利用可能です。座席956、図書74万冊、雑誌1200タイトルを所蔵しています。入退館・各種サービス利用には学生証が必要です。学生証不携帯の場合は、入館のみの利用となります。



●開館時間

授業日 : 平日 9:00~21:00
土曜日 9:00~16:50

授業日以外: 平日 9:00~16:50

※最新の開館日・開館時間は図書館HPの
カレンダーで確認できます。

●貸出期間・貸出冊数

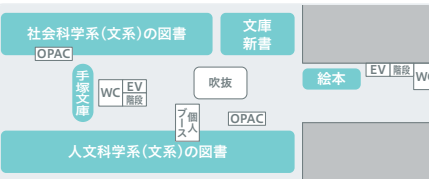
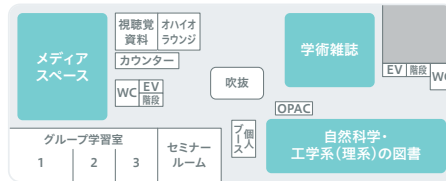
	貸出冊数					
	貸出期間	2・3階図書	B1階図書	B1階参考図書	学生選書	更新
1~2年生	2週間	5冊	5冊	2冊1週間	2冊2週間	1回
3~4年生	1ヶ月	10冊	10冊	2冊1週間	2冊2週間	2回
大学院生	1ヶ月	20冊	30冊	2冊1週間	2冊2週間	2回

●利用上の注意

静粛な環境を保つため、大声での会話・携帯電話の通話にご遠慮ください。
館内は原則、飲食はできません。ペットボトル・水筒などフタ付きの飲み物のみ可能です。

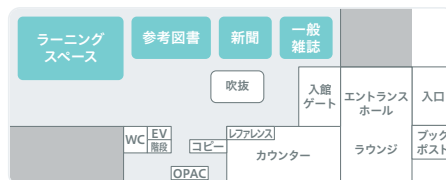
3階

- 3階カウンター** : 視聴覚資料貸出・地下書庫利用申込・グループ学習室申込 (3人以上で利用)
- メディアスペース** : 椅子席・ソファ席・グループ席でBlu-ray等を視聴できます。
- 個人ブース** : 5室 (申込は1階カウンター)



2階

個人ブース: 5室 (申込は1階カウンター)



1階

- 1階カウンター** : 貸出・返却等手続き
- レファレンスコーナー** : 調べ方等わからないことを質問できます。
- ラーニングスペース** : 声を出してプレゼンの練習やディスカッションができます。
- ブックポスト** : 図書館閉館中に図書を返却できます。

※地下書庫は3階カウンターで手続き後、3階東地下書庫専用エレベーターで利用できます。

わからないことは、図書館1階カウンターに問い合わせてください。

図書館ホームページ

<https://library.bliss.chubu.ac.jp/>



図書館の外からも、パソコンやスマートフォンで図書館を利用できます。

- A カレンダー** : 開館日・開館時間を確認する。
- B ログイン** : 貸出期間更新や貸出履歴など利用状況を確認する。
- C 資料検索OPAC (オパック)** : 図書館に所蔵があるか確認する。
- D 電子ブック** : 電子書籍を読む。
- E 外部データベース** : 論文や記事を検索する。本文を読む。
- F 電子ジャーナル** : 電子版の雑誌を読む。
- G 機関リポジトリ** : 中部大学の研究者の学術情報データベース。
- H 問い合わせ** : わからないことを問い合わせる。



The screenshot shows the library homepage with several callouts pointing to specific features:

- E 外部データベース** (1, 2): Points to the '外部データベース' menu item.
- A カレンダー**: Points to the 'カレンダー' section showing the current date and library hours.
- C 資料検索 OPAC (オパック) タイトルのみ 内容検索不可**: Points to the search bar.
- D 電子ブック** (1, 2): Points to the '電子ブック' section.
- H 問い合わせ**: Points to the 'お問い合わせ' link in the top right.
- G 機関リポジトリ**: Points to the '機関リポジトリ' menu item.
- F 電子ジャーナル** (1, 2): Points to the '電子ジャーナル' section.
- B ログイン Tora-netの ID/PWを使用**: Points to the 'ログイン' button at the bottom.

利用できるサービスは、インターネットの接続環境によって異なります。

- ① **学内環境** : 大学内の有線LANに接続したパソコン、またはCWNのWi-Fi利用。
- ② **学外環境** : Tora-netのID/PWでログインし、学認 (GakuNin) 経由で利用。

学習支援室

本学では、**学生のみなさんが安心して学びを深められるよう、「学習支援室」を開室しています。**

- 高校で習わなかった内容を基礎から教えてほしい
- 期末試験や資格取得に向けて勉強を教えてください
- 授業でつまづいてしまったところを、じっくりと理解し直したい

そんなときに、気軽に相談できる場所が学習支援室です。分からないところの質問はもちろん、「どのように勉強したらよいか」「どんなペースで進めればよいか」といった学習方法の相談もできます。学習支援室には、みなさんの学びを応援する先生方がいます。相談は、個人でもグループでも受け付けています。「困ってから」ではなく、「早めに相談する」ことが、大学で

の学びを充実させる第一歩です。ぜひ一度、学習支援室を活用してみてください。

開室科目:「数学」「英語」「物理」「化学」

相談場所: 9号館1階学習支援室

受付時間: 11:50~17:00 (月~金曜日)

※学習相談の時間割は、学習支援室のホームページでご確認ください。



<https://www.chubu.ac.jp/student-life/support/study-support-room/>



総合情報センターとコンピュータ・サポートデスク (ICT 学習環境と情報教育システム)

総合情報センターは、学生のみなさんの ICT 学習をサポートしています。ここでは、学生のみなさんに関わりが多いサービスをご案内します。

PC 実習室・自習室

総合情報センターには、PC 教室として、22号館・24号館・28号館に5つの実習室と24号館に自習室があります。主に授業で使用するためのデスクトップPCが設置され、Windows、Linuxが利用できます。実習室・自習室の場所や使用できるソフトなどの詳細は、総合情報センターの Web サイトをご覧ください。

総合情報センター Web サイト

施設・実習室

総合情報センター実習室



総合情報センター Web サイト
<https://www.isc.chubu.ac.jp/>

学生ラウンジ共用 PC

学生ラウンジやロビーに共用デスクトップPCや、オンデマンドプリンタを設置しています。設置場所は以下の通りです。

- 9号館学生ラウンジ: PC10台、オンデマンドプリンタ
- 10号館学生ラウンジ: PC16台、オンデマンドプリンタ、オンデマンド複合機
- 19号館学生ラウンジ: PC5台、オンデマンドプリンタ
- 24号館ロビー: PC2台、オンデマンドプリンタ
- 25号館学生ラウンジ: PC5台
- 51号館学生ラウンジ: PC5台、オンデマンド複合機
- 不言実行館ラーニングcommons: オンデマンド複合機

オンデマンドプリンタ/複合機の利用 (印刷/コピーする)

オンデマンドプリンタ/複合機は、共用PC (アプリの印刷メニューを使用) やノートPC (印刷システムWebサイトにファイルをアップロード) から印刷できます。ファイル印刷はポイント制で無料ですが、年間、月間の上限を超えると有料です。コピーは複合機で有料のみ利用でき、ポイントは使用できません。いずれも交通系ICカードのみで支払いできます。印刷方法やポイントについての詳細は、以下の Web サイトをご覧ください。

総合情報センター Web サイト

サービス

オンデマンドプリント
(学内ネットワークでのみ公開しています)

コンピュータ・サポートデスク (ノートPC 活用支援)

総合情報センターでは、授業期間中に、10号館1階でコンピュータ・サポートデスクを開設しています。授業期間外は24号館で対応します。ノートPCの動作の不具合や操作方法、ネットワーク利用等の相談を受け付けています。また、ノートPCの故障や不具合等のトラブルで授業に支障をきたす場合には、授業時間に限りノートPCの貸出サービスを行なっています。開室日など詳細は、以下の Web サイトをご覧ください。

総合情報センター Web サイト

施設・実習室

10号館コンピュータ・サポートデスク

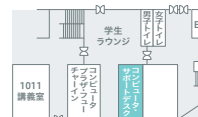
● 相談受付時間

授業日・期末試験日: 月~金曜日 9:00~19:00

上記以外:

24号館総合情報センターにて対応

月~金曜日 9:00~17:00



教育用ネットワーク e-Net(有線)/CWN(無線)

講義室・ラウンジ・図書館・学生食堂などで、ノートPCをインターネットに接続できます。利用には認証が必要です。利用方法、設置場所などの詳細は、以下の Web サイトをご覧ください。

総合情報センター Web サイト

サービス

教育用ネットワーク
e-Net・CWN

Office (Word, Excel, PowerPoint) とウイルス対策ソフトの利用

中部大学在学中に限り、学生の個人所有ノートPCで Microsoft Office アプリケーションとウイルス対策ソフトが利用可能です。ソフトの入手は、Tora-Netのソフトウェアダウンロードから可能です。またコンピュータ・サポートデスクでも相談を受け付けています。

ネット詐欺やウイルスなどに注意

総合情報センターの Web サイトでは、学生や教職員が遭遇したネット詐欺やウイルスなどについての情報を公開しています。不審なメールや、PCにトラブルが発生しているかのような詐欺画面が表示される事例などを紹介していますのでご覧ください。詐欺画面がいつばいに表示されてしまった場合などは、落ち着いて、PCを一切操作をせず、電源を切ってコンピュータ・サポートデスクまでご相談ください。



学生相談室

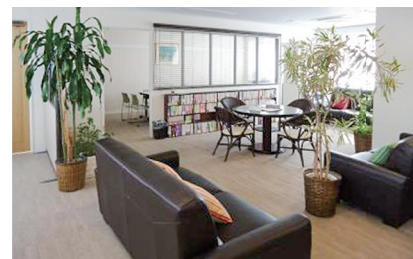
充実した学生生活をおくるためのサポートをしています

場所：キャンパスプラザ3階
開室時間：月～金曜日 9：00～17：00
直通電話：0568-51-9843



<https://portal.chubu.ac.jp/dept/institute/student-counseling-room/>

大学生活の中で、人間関係や進路、自分自身の性格のことで悩んだり困ったりすることがあるのではないのでしょうか。悩むことは大切なことであり、自分の生き方や考え方を確立していく重要な過程でもあります。学生相談室では、さまざまな困りごとについて、公認心理師および臨床心理士の資格を持ったカウンセラーが話をじっくりお聴きしながら、どうしたらよいかを一緒に考えていきます。カウンセラーから適宜助言などを行うこともありますが、相談者の方がご自身の内面を安心して探索し、解決の方向を見出すということを大切にしています。また、周りの友人やご家族のことが心配という場合や、ご家族が学生のことを心配しているという場合にもご相談をお受けしています。お気軽にご利用ください。



こんな活動も行っています！

学生相談室では自己成長に役立つさまざまな内容のプログラムを用意しています。ご自分に合ったものを使用してください。また、学内の安心できる居場所の一つとしてもご利用いただけます。

●自分探しグループ

自己理解や、よりよい対人関係をつくる手がかりとなるような体験実習プログラムを行っています。4回のシリーズを通して、あなた自身との新たな出会いが得られることを目指します。春学期、秋学期各1回開催します。参加をお待ちしています。

●新入生のためのストレスチェック

学生相談室では1年生を対象にアンケートを実施しています。みなさんの学生生活のスタートを応援したいと願っています。

●ひとり暮らし入門

あこがれのひとり暮らしを始めたものの、日々の生活で精一杯だったりホームシックを味わったりすることもあるかもしれません。トラブル対策、大学周辺のお店・病院情報、調理実習など、ひとり暮らしを楽しむヒントを先輩が優しく教えてくれます。

●社会人生活入門（オンライン開催）

卒業を控えた4年生を対象に、実際に会社経営に携わっている経営情報学部 寺澤朝子先生をお招きして、新社会人が知っておくとよいこと、考えておくとよいことなどをお聞きます。卒業前のひととき、ゆったりとした気持ちで春を迎える準備をしましょう。

●書籍の貸し出し

自己理解に役立つ書籍をそろえています。貸出期間は2週間です。

プログラムの日程などの詳細については、学生支援課 掲示板、Tora-Net Portalのお知らせ、学生相談室 Web サイトでご確認ください。

健康増進センター

健康増進センターはみなさんの健康的な生活をサポートします

場所：9号館1階
開室時間：月～金曜日 9：00～17：00
直通電話：0568-51-4428



<https://www.chubu.ac.jp/student-life/support/health-promotion/>



●保健管理室

看護師等の国家資格をもったスタッフが常駐し、ケガや体調不良者の応急処置や健康相談、健康診断などを行っています。学内でけがをしたときや体調不良となったとき、悩みなどある場合には気軽に利用してください。

●診療所

医師による健康相談や診察が受けられます。診療時間はホームページを確認してください。

●睡眠相談室（予約制）

睡眠に関する悩みや不安、疑問等の相談に教員が応じます。

※他にも、専門スタッフによる心の健康相談、高血圧・循環器病相談が受けられます。

医療機関の受診先に困ったら

●インターネットで調べる

あいち救急医療ガイド



<https://www.qq.pref.aichi.jp/>



●電話で問い合わせる（24時間体制）

愛知県救急医療情報センター（春日井市）：0568-81-1133

●本学周辺の救急で診療できる病院（24時間体制）

名古屋徳洲会総合病院（高蔵寺駅北）：0568-51-8711
春日井市民病院：0568-57-0057

健康診断は年1回必ず受診してください

定期健康診断は学校保健安全法および学生通則第11条により毎年の受診が義務づけられています。必ず受診してください。未受診の場合は、学外の医療機関で健康診断を受けて（自費）、診断書を提出してください。健康診断の日時はホームページや掲示板を確認してください。

AED置いています

AED（自動体外式除細動器）は大切な命を心臓突然死から救ってくれる医療機器です。以下の場所に設置されています。（67ページ参照）

- 9号館1F保健管理室前
- 1号館1Fロビー
- 7号館2F工学部事務室
- 20号館3F国際関係学部事務室
- 21号館3F経営情報学部事務室
- 25号館1F人文学部事務室
- 30号館6F応用生物学部事務室
- 50号館2F生命健康科学部事務室
- 70号館2F現代教育学部事務室
- 講堂（体育館）1F
- クラブ・サークルプラザ1F交流ラウンジ
- グラウンド倉庫1F メイングラウンド西
- 武道体育館1F
- 正門警備室
- 不言実行館1F
- 学生寮1F南館



中部大学民族資料博物館（附属三浦記念図書館2階）

「博物館相当施設」（2023年より「指定施設」）指定を受けた大学博物館施設で、博物館学芸員課程他の実習・演習授業の場になっています。常設展のほか、企画展や講演会、公開講座等を企画開催し、地域一般にもひらかれた教育施設として活動しながら、大学の歴史資料の記録や紹介も行っています。

入場無料：どなたでもご入場いただけます。

開館時間：平日 9：30～16：30

※祝日の授業日、大学催事の開催日には、土日祝日に開館することがあります。

場所：中部大学附属三浦記念図書館2階

※図書館閲覧室に入館手前の右方階段をご利用ください。



民族資料博物館
<https://www.chubu.ac.jp/student-life/facilities/museum>

展示の特徴

コンセプトは、「陸と海の交流の道から眺める、世界の民族文化」。本学における国内外での文化交流や教員の研究調査活動のなかで収集された民族資料を中心に約4,000点を所蔵しています。常設展示室は、第1室「シルクロード室」と第2室「地域研究エリア」の二部構成で、シルクロード、オセアニア、アフリカ、ヨーロッパ、アジア、アメリカの6つの地域で展示ゾーンを区分しています。

● 関連案内

中部大学Webミュージアム



<https://www.chubu.ac.jp/about/web-museum/>

中部大学キャンパス・アートマップ

民族資料博物館受付／1号館1F受付に設置



常設展示室：第1室「シルクロード室」



常設展示室：第2室「地域研究エリア」オセアニア地域



アジア・アメリカ地域



館内の学習スペース

日本伝統文化プロジェクト室（不言実行館5階）

日本伝統文化推進プロジェクトは、中部大学の文化発信活動の一環として、グローバル化時代を生きる学生たちに本物の伝統文化に触れてもらいたい、との願いを込めて2019年4月に始動しました。

本プロジェクトの目的

1. 中部大学の文化性豊かな学風づくりへの貢献
2. 伝統文化に深い理解をもつ教養豊かな国際人の育成
3. 知の拠点として、外に向けて積極的な文化発信

2021年11月に完成した日本伝統文化プロジェクト室は、畳敷きとふすま等も備えた和室を設置しており、これまでの活動の記録（動画）を2つのプロジェクターで視聴でき、併せて伝統文化にかかわる文化財等も陳列することができます。日本伝統文化に関心を抱く学生たちの活動の拠点として、また伝統文化にかかわるサークルやクラブ活動の拠点として活用されます。

取り組んでいる主な活動

「能楽の講演と鑑賞」、「伝統話芸一落語と講談の会」、「日本舞踊一講演と実演」、「からくり人形一講演と実演」、「伝統文化講演会（百人一首、歌舞伎と地芝居、源氏物語等）」、平安装束ワークショップ、着付け教室、日本伝統文化講座等

日本伝統文化推進プロジェクト事務局

（人文学部事務室内）

問い合わせ先：0568-51-4144（直通）



<https://pfs.chubu.ac.jp/project/culture-project/>



学内スポーツ施設 思いっきり体を動かそう

※授業及び課外活動が行われていない時間に利用できます。

全天候型グラウンド

(メイングラウンド・サブグラウンド)

陸上、サッカー、ソフトボールなどができます。但し、野球場は利用できません。



体育館

(メインアリーナ・サブアリーナ)

バスケットボール、バレーボール、バドミントンなどができます。



テニスコート

テニスシューズ、コート整備を忘れずに。全面人工芝コートです。



プール

(体育・文化センター1F)

室内温水で25m、7コース。競泳用着キャップが必要です。プール窓口で受付をしてください。



ウェイトトレーニング室

(体育・文化センター2F)

ウェイトトレーニングマシンを豊富に揃えています。トレーニング室窓口にて受付をしてください。

利用時間

9:00~21:00

※日・祝日(授業日は除く)は利用できません。

※体育館シューズが必要です。



体育・文化センター貸出窓口 (ウェイトトレーニング室を除く)

体育・文化センター1F (プール管理事務室)

体育・文化センター貸出物品

- 卓球ラケット・ボール ●ソフトボール ●サッカーボール
- バスケットボール ●バレーボール
- バドミントン：ラケット・ネット・シャトル (200円で購入)
- テニス：ラケット・ボール など

利用時間：月～金 10:00～16:00 (授業・課外活動が行われてない時間)

※受付の際には学生証の提示が必要です。※施設に応じてシューズの確認を行います。※授業期間以外は貸出しません。



中部大学研修センター



岐阜県恵那市の丘陵に位置し、広さ40万m²もの土地を有します。自然林を十分に残した敷地には、研修施設や運動施設が備えられ、学生や教職員の研修・ゼミナール・クラブ合宿などが行われています。

●利用料金

宿泊料金：学生・付添教員 500円
学外学生・卒業生 1,000円
一般 1,500円

朝食：550円
昼食：660円
夕食：A 1,650円 / B 1,210円

●利用可能施設

グラウンド / 野球場 / ゴルフ場 / 研修室1・2 (各20名収容) /
研修室3 (100名収容) / 研修室4・5 (120名収容) / 体育館

●申込について

詳しくはこちらをご覧ください。



●施設詳細

所在地：〒509-7122 岐阜県恵那市武並町竹折字西川原田985-1

電話：(0573) 28-1211 / 1212

●交通のご案内

電車：JR中央本線武並駅下車徒歩約20分

自動車：中央自動車道 恵那ICより19号線利用約10分、瑞浪ICより19号線利用約15分

課外活動・その他

Extracurricular Activities and Others



ボランティア

様々なボランティアのプロジェクトを展開しているボランティア・NPOセンターは、今年で設立23年目をむかえます。クラブサークルプラザ棟3・4階を拠点に活動を行っています。現在活動しているプロジェクトは、「災害対策」「環境対策」「社会教育」「社会福祉」「地域貢献」の5つのプロジェクトです。プロジェクトリーダーが中心となり、本学の建学の精神である「不言実行、あてになる人間」を目指し、学生達が日々活動に励んでいます。



Chubu Walk

Chubu Walkは、みなさんに「自分の足で歩く」ことの大切さを知ってもらう行事です。長距離を長時間をかけて歩く、つらくも楽しい行事ですが、例年、参加者のほぼ全員が完歩しています。仲間たちと苦楽を共にし、長距離を完歩した時の達成感は筆舌に尽くしがたいものです。参加者は4月（予定）に募集します。



全学学科対抗スポーツ大会

毎年本学グラウンドで開催され、各学科が一致団結し、力の限りを尽くし、盛大な盛り上がりを見せます。



課外活動

クラブ

現在、本学には52正クラブ、6同好会、7準備会があります。就職活動をする際にもクラブ活動の経験が自己PRにつながります。少しでも興味があればクラブに入って学生生活を有意義なものにしてください。各クラブの詳細については、ホームページまたは、中部大学公式アプリをご覧ください。

クラブ活動表彰式

顕著な活躍をした団体・個人に対し、学長より賞が授与されます。表彰式はユニホーム姿で参加するクラブもあります。



正クラブ

- | | |
|--------------|------------|
| 硬式野球部 | 合気道部 |
| 準硬式野球部 | 弓道部 |
| バレーボール部 | 少林寺拳法部 |
| サッカー部 | 空手道部 |
| ラグビー部 | チアリーディング部 |
| 男子バスケットボール部 | ソフトボールクラブ |
| 女子バスケットボール部 | ユースホステルクラブ |
| ハンドボール部 | ユネスコクラブ |
| フライングディスククラブ | 無線部 |
| 軟式庭球部 | E.S.S.クラブ |
| ローンテニス部 | 将棋部 |
| 卓球部 | 写真部 |
| バドミントン部 | 美術部 |
| ゴルフ部 | 演劇部 |
| アングリング部 | 建築研究会 |
| アーチェリー部 | 鉄道研究会 |
| 陸上競技部 | 天文研究会 |
| トライアスロン部 | 映画研究会 |
| スキー競技部 | シンフォニックバンド |
| 基礎スキー部 | 混声合唱団 |
| サイクリング部 | マンドリンクラブ |
| 自動車部 | 管弦楽団 |
| 水泳部 | 軽音楽部 |
| ラクロスクラブ | ボーカル部 |
| 剣道部 | 茶道部 |
| 柔道部 | 書道部 |

同好会

- 漫画研究会
- パーソナルコンピュータ研究会
- シミュレーション研究会
- 会計学研究会
- 手話サークル
- 文芸研究会

準備会

- マルチメディアコミュニケーションクラブ
- スノーボードクラブ
- 放送研究会
- 科学・物理実験会
- 料理研究会
- スキューバダイビングサークル
- eスポーツクラブ

その他の公認団体

- 中部大学祭実行委員会
- 夏季課外教育活動リーダー
- Clean Up Project
- 中部大学ボランティア・NPOセンター
- 中部大学学生イベントスタッフ C-Link

新入生
限定!



チャンスがあるのは新入生のあなただ! 夏季課外教育活動 フレッシュマンキャンプ

フレッシュマンキャンプとは、文字どおり「フレッシュマン（学部1年生）」を対象に行う本学創立以来続く伝統行事の一つです。教職員・上級生リーダーとともに、キャンプを楽しみます。フレッシュマンキャンプのビッグイベント、「山登り」「野外炊事」「キャンプファイヤー」等を通じて、コミュニケーションを密にし、交流を深めています。学科を超えた仲間もでき、充実した大学生活をおくるためのひとつのきっかけとして行われているキャンプです。この夏休み、あなたも参加してみませんか? 詳細は学生支援課まで。



幸平塾について

「幸平塾」は、創立者三浦幸平先生の教えをもとに、学生自らを人間的に、そして社会に資する人材として成長させるための中部大学独自教育プログラムです。中部大学内で行われる行事や講演会などに積極的に参加し、学部・学科を超えた幅広い分野の知をつなぐ「学部横断型プログラム」で自己理解を深め、“誇れる自分を”見つけませんか? プログラムを終了したら「不言実行大賞」に応募できます。詳細は、学生サポートセンター事務課（不言実行館3階）まで。



幸平塾HP

<https://www.chubu.ac.jp/student-life/support/commons/kohei-juku/>

夢・チャレンジ『ちゅとラボ』とは?

夢・チャレンジ『ちゅとラボ』は、「自ら学ぶ」「新たな活動を企画・実践する」「課題を発見して解決する」など、目的をもって意欲的にチャレンジする学生に対して支援をするものです。学部・学科の枠を超えてプロジェクト活動を行うことで、異なる視点を融合させ、刺激し合い、人間力を培うことを目的としています。

〈スタートアップコース〉と〈チャレンジコース〉の2つのコースが設定されています。(スタートアップコース)の申請は随時、思い立ったらすぐ実施できます。さらなるステップとして〈チャレンジコース〉があります。どんな小さな企画でもOKです。「なにかに挑戦してみたい。」「面白いことをみんなでやってみたい。」という方、まずは学生サポートセンター事務課にご相談ください。



ちゅとラボHP

<https://www.chubu.ac.jp/student-life/support/commons/chutolab/>



中部大学祭

中部大学祭は「学生が主体」となって作り上げる一大イベントです。期間中、広いキャンパスは学生の熱気に包まれ、学科の研究発表展やクラブサークルの体験イベント、カラフルに彩られた模擬店等、多種多様なイベントが盛りだくさんです。学生のみなさんや近隣の方、遠方からお越しの方など多くの人に楽しんでもらえるよう、中部大学祭実行委員会が様々な工夫を凝らしています。ただ来場するだけでなく、イベントを催す側として参加することや大学祭実行委員会として運営をする等、大学祭への参加方法は様々です。みなさんも中部大学生の一員として積極的に参加し、中部大学祭特有の雰囲気を作り上げ、体験しましょう。



バドミントン大会

バドミントン大会は、メインアリーナで行われる行事で、毎年熱戦が繰り広げられています。



中部大学音楽祭

中部大学音楽祭は混声合唱団、シンフォニックバンド、マンドリンクラブ、軽音楽部ナチュラルサウンズ・ジャズ・オーケストラ、管弦楽団の合同演奏会を大学が主催して開催するコンサートです。毎年多彩なプログラムが生まれ、春日井市民会館等で盛大に行われます。



同窓会

中部大学同窓会は、1969年に「会員相互の親睦と母校、中部大学の発展に寄与する」ことを目的に設立され、様々な活動をしてきましたが、昨年（2025年11月）新たに社会的信用力を高め、より自立した事業運営を実現するため「会員相互の親睦と連携を図り、併せて中部大学の発展に寄与するとともに、会員の生涯にわたる成長及び国際社会に貢献する」ことを目的として「一般社団法人 中部大学同窓会」に生まれ変わりました。現在は卒業生のうち、約67,000名の参加を得て社会において様々な活動、また各地域で活躍を続けております。そのネットワークを通じ、会員相互の連携を深め、成長、発展していくことを目指しています。また、在学生の皆さんは同窓会準会員として、充実した学修支援、国際感覚を身につけるための留学支援などの支援を行っております。

終身会費：50,000円

納入期日：次の通り各学年での分割納入となります。
20,000円（1年秋学期）、10,000円（2年目・3年目・4年目の春学期）

納入方法：学費納入時期頃、保証人住所あてに送付します「同窓会費納入のお願い」により納入をお願いします。



大学祭での卒業生講演会



代議員会



学内清掃キャンペーン

学内清掃キャンペーンとは、「I♥Clean Campus」を合言葉に学内の美化や一人ひとりのキャンパスマナー向上を目的として活動しているボランティア団体『C.U.P. (Clean Up Project in Chubu University)』のメンバーが中心となって、学生・教職員より参加希望者を募り、学内の清掃を行うものです。ボランティア精神のある人、自分の力で中部大学をより良くなるよう変えてみようと思っている人など、多くの方の参加をお待ちしています。

新入生歓迎オリエンテーション

新入生歓迎オリエンテーションは、新入生が安心して大学生活を始められるよう、学科ごとに先輩学生（ピアサポーター）が企画・運営するイベントです。オリエンテーションでは、学科の学びの紹介やレクリエーション、学内施設の見学などを通じて、先生や先輩・同級生と交流する機会が設けられています。また、ピアサポーターはオリエンテーションだけでなく、1年間にわたって新入生をサポートします。授業や学生生活について気軽に相談できる存在として、新入生が大学生活にスムーズに馴染めるよう支援します。



後援会

後援会は、大学と家庭との連絡を密にし、教学の使命達成に協力するとともに、大学の発展向上に寄与することを目的として学生の保護者を会員として組織されています。

主な事業として、学生の課外活動・奨学金・就職活動（各種資格取得講座への補助等）など学生生活を支援するほか、例年、大会会場及び地区会場で「父母との集い」を開催しています。

「父母との集い」の各会場では、学長をはじめ教職員より、大学の方針や近況、学生生活や就職活動支援などが説明されるほか、希望される方には個別面談を行っています。また、大会会場では学科説明会を開催し、学科の教育方針などについて説明する他、キャンパスツアーや学食体験、大学オリジナルグッズの販売などさまざまなプログラムを実施しています。

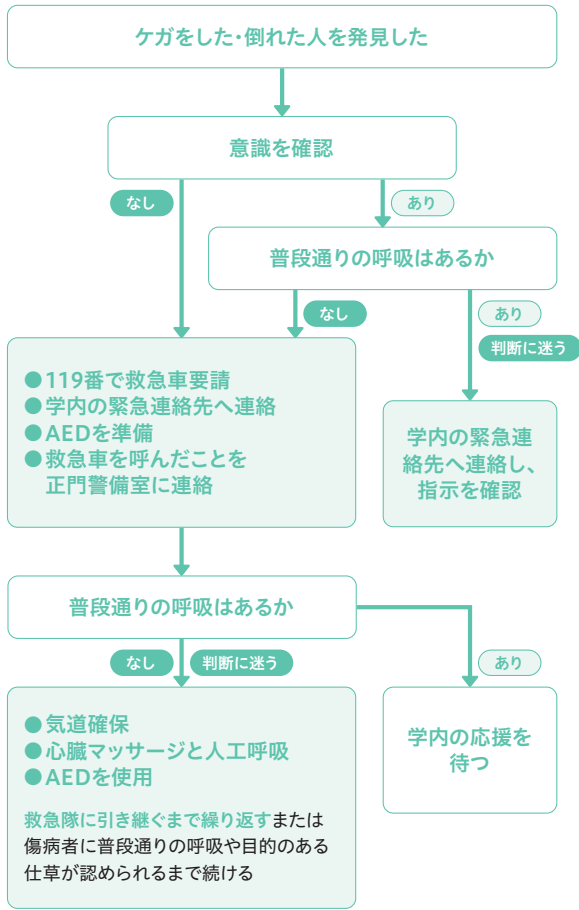


「父母との集い」大会会場 全体会



学生によるキャンパスツアー

ケガをした・倒れた人を発見した場合の対応



学内の緊急連絡先

- 平日9時～17時
(授業実施日、長期休業中の保健管理室・学生支援課開室日)
保健管理室：0568-51-4428
学生支援課：0568-51-4697
- 上記以外の時間・閉室時
正門警備室：0568-51-1113
(0568-51-4442)

医療機関

- 救急病院
 - ① 名古屋徳洲会総合病院
0568-51-8711
 - ② 春日井市民病院
0568-57-0057
- 休日・平日夜間急病診療
春日井市総合保健医療センター
0568-84-3060

※愛知県救急医療情報センター
0568-81-1133
<https://www.qq.pref.aichi.jp/>
(あいち救急医療ガイド)



心臓マッサージ・AED

- ① 心臓マッサージ(30回)と人工呼吸(2回)を繰り返す
※人工呼吸は省略可

心臓マッサージ

- 100回/分のテンポで
- 胸が約5cm沈むように(小児は胸の厚さの1/3)

- ② AEDが到着したら使用
(電源をいれて、パッドを貼りAEDのアナウンスに従う)



- ③ AEDの解析・電気ショック後に、AEDを貼ったまま①を繰り返す

中部大学キャンパスマップ

Chubu University Campus Map



● AED設置場所

- 正門警備室
- 1号館ロビー (1階)
- 保健管理室 (9号館1階)
- 不言実行館 ACTIVE PLAZA (1階)
- 講堂 (体育館) (1階)
- 工学部事務室 (7号館2階)
- 経営情報学部事務室 (21号館3階)
- 国際関係学部事務室 (20号館3階)

- 人文学部事務室 (25号館1階)
- 応用生物学部事務室 (30号館6階)
- 生命健康科学部事務室 (50号館2階)
- 現代教育学部事務室 (70号館2階)
- クラブ・サークルプラザ (1階交流ラウンジ)
- グラウンド倉庫 (1階・メイングラウンド西)
- 学生寮 (南館1階)
- 武道体育館 (1階)



中部大学

愛知県春日井市松本町1200

www.chubu.ac.jp